
当社グループの新経営計画について

～「新時代の旗手」をめざして～

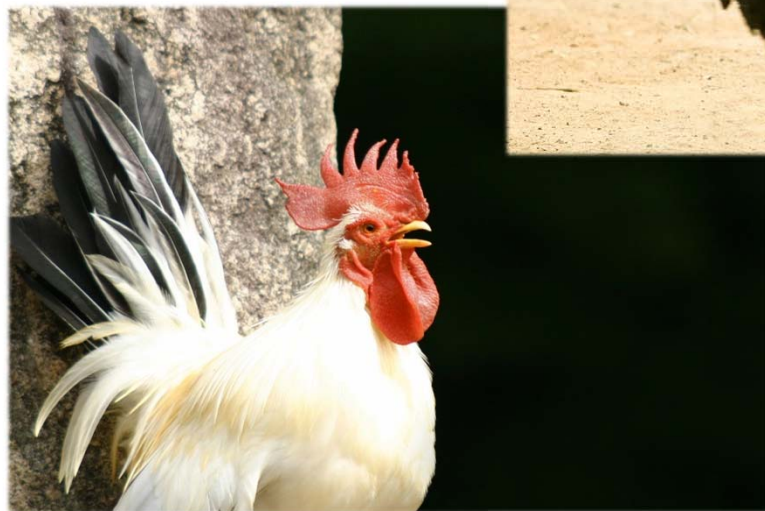
2017年12月

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社(8616)

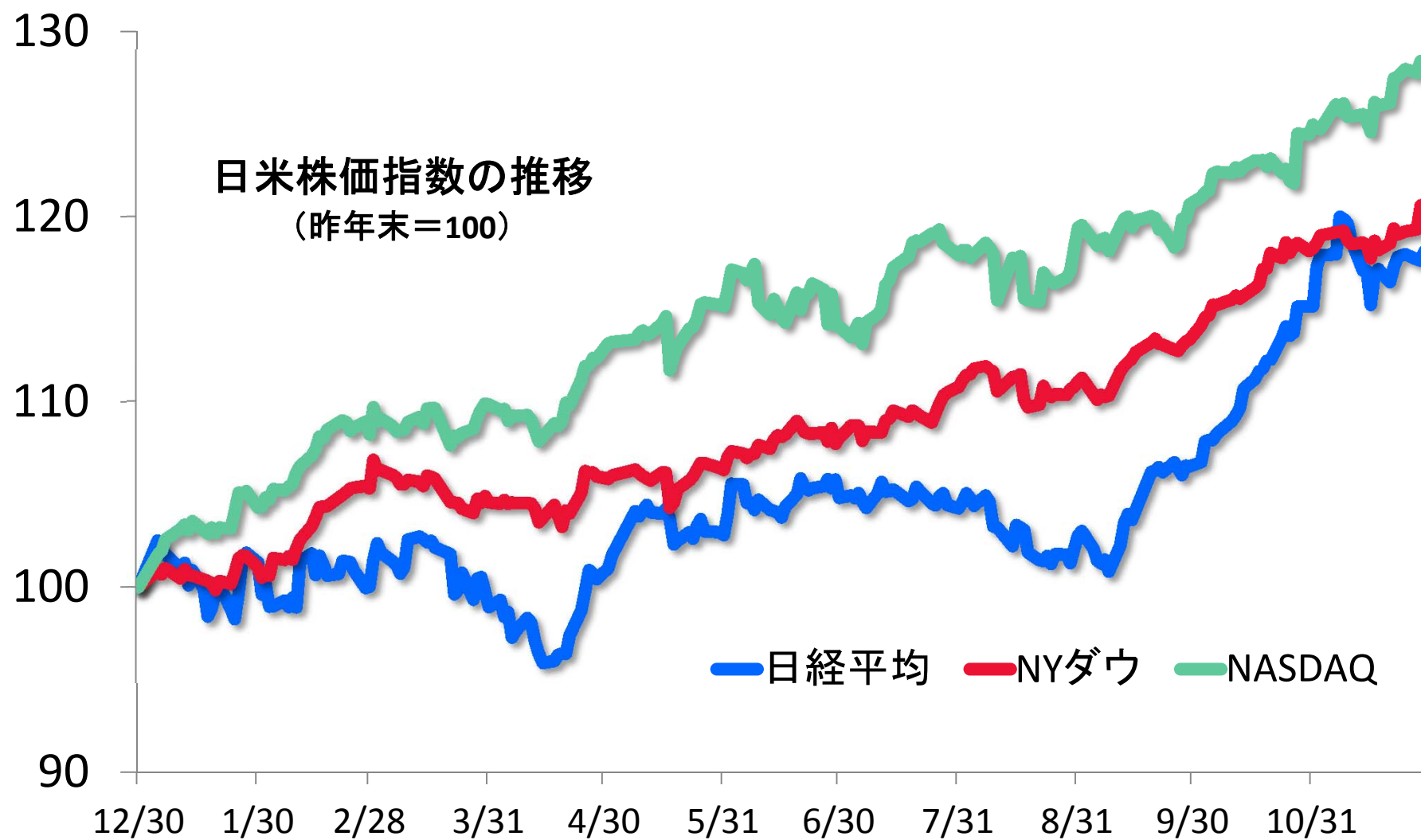
代表取締役社長 最高経営責任者 石田 建昭

2017年の動向と 東海東京フィナンシャル・グループ

鳥 騒ぐ

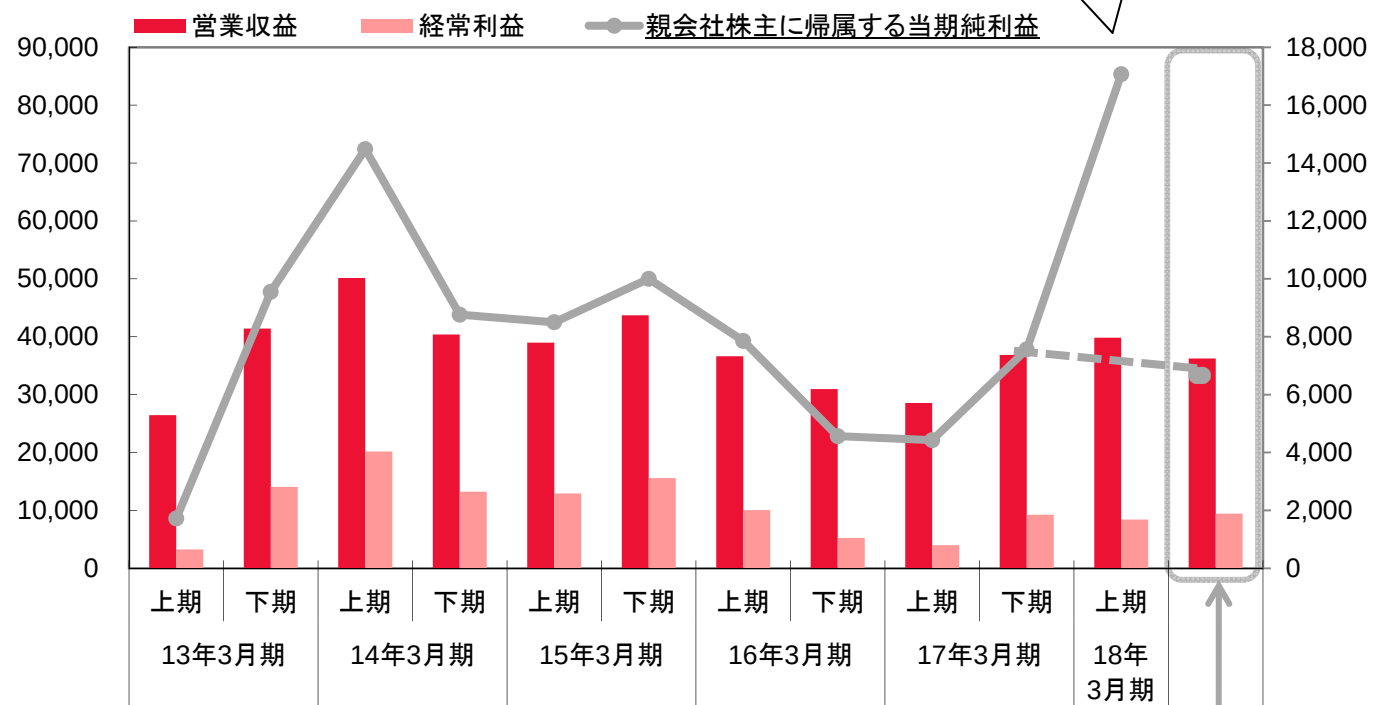


2017年のマーケット



東海東京フィナンシャル・ホールディングスの業績

営業収益、経常利益
(百万円)



当期純利益

(百万円)

増益率ランキング
(経常利益/前年同期比)

1	当社	110.0%
2	SMBC日興	33.0%
3	野村	11.0%
4	大和	4.8%
5	岡三	-22.8%
6	三菱UFJ	-26.3%
7	みずほ	-54.9%
8	SMBCフレンド	-65.9%

業績: 主要要因

リテール
外国株・仕組債

マーケット部門

収益の拡大

提携合弁証券(JV)
プラットフォーム

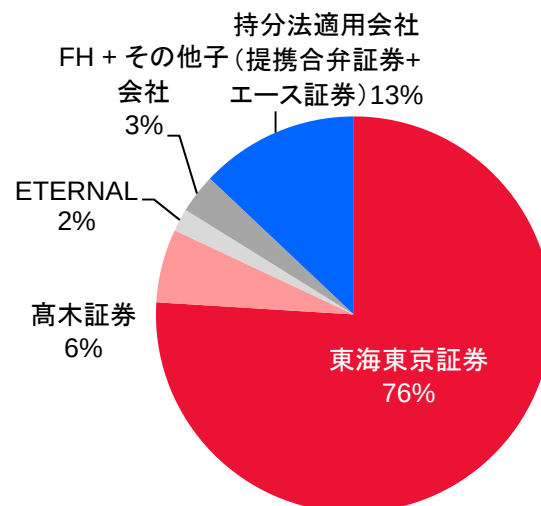
富裕層ビジネス

新プロジェクト

(東海東京証券)リテールと非リテールの収益比率

連 結

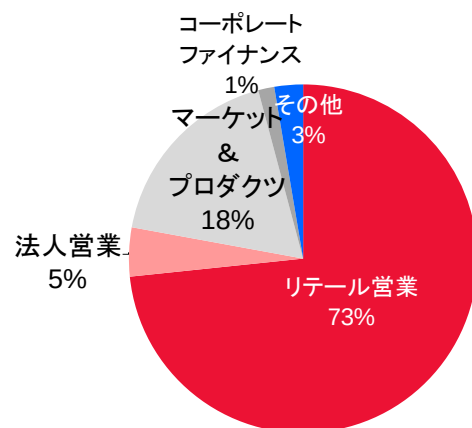
2018年3月期 上期



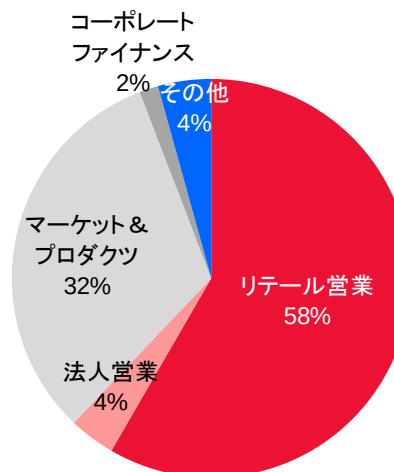
* 持分法適用会社(提携合併証券およびエース証券)の収益を持分比率により合算することで、2018年3月期上期における当社グループ損益の源泉のイメージを提示するものであり、企業会計上の連結損益計算書とは異なります。

東海東京証券

2013年3月期



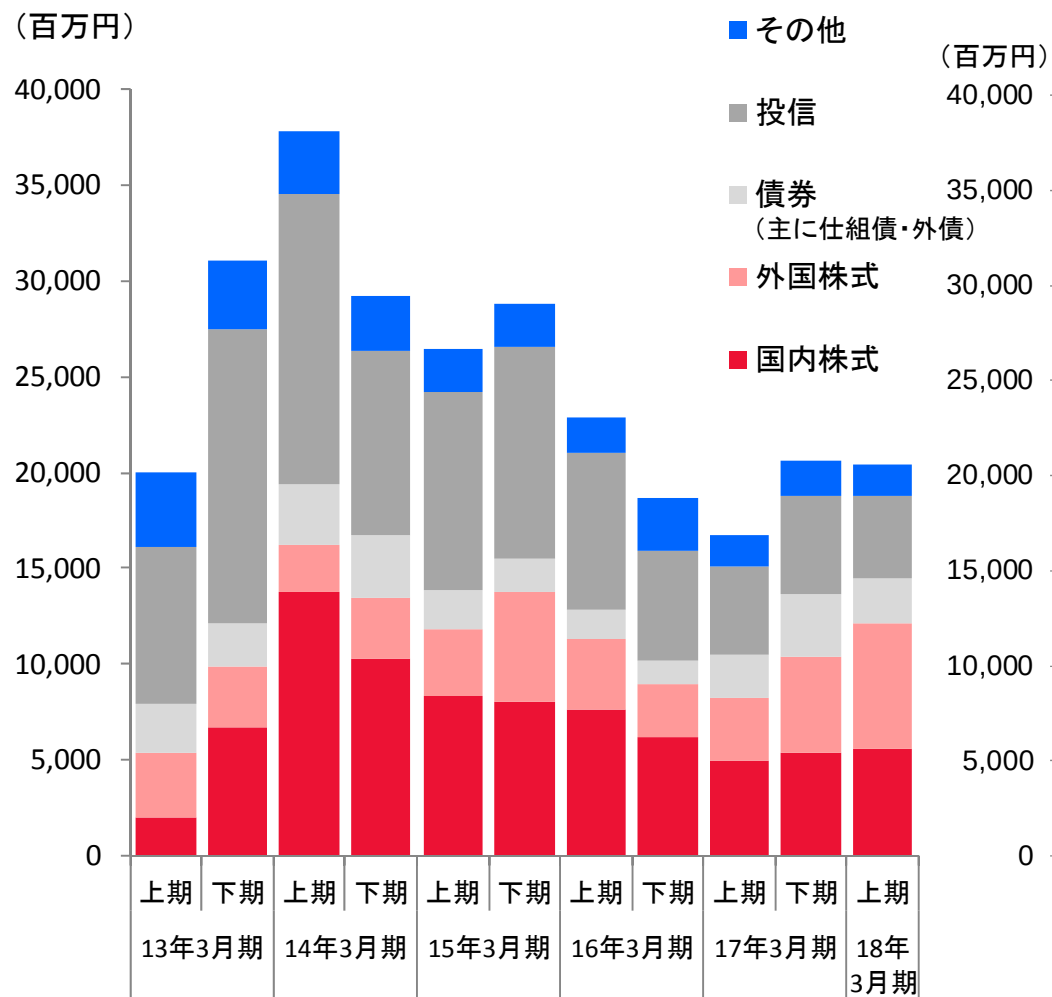
2018年3月期 上期



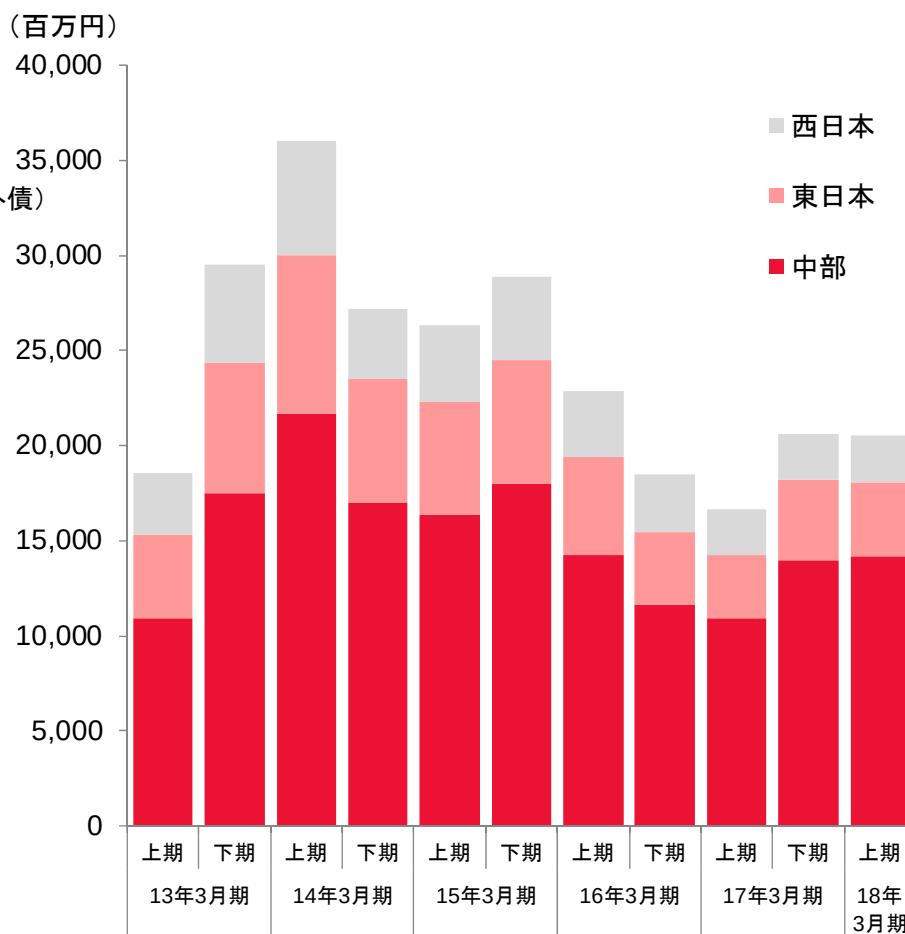
*東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

(東海東京証券)リテール部門

商品別収益

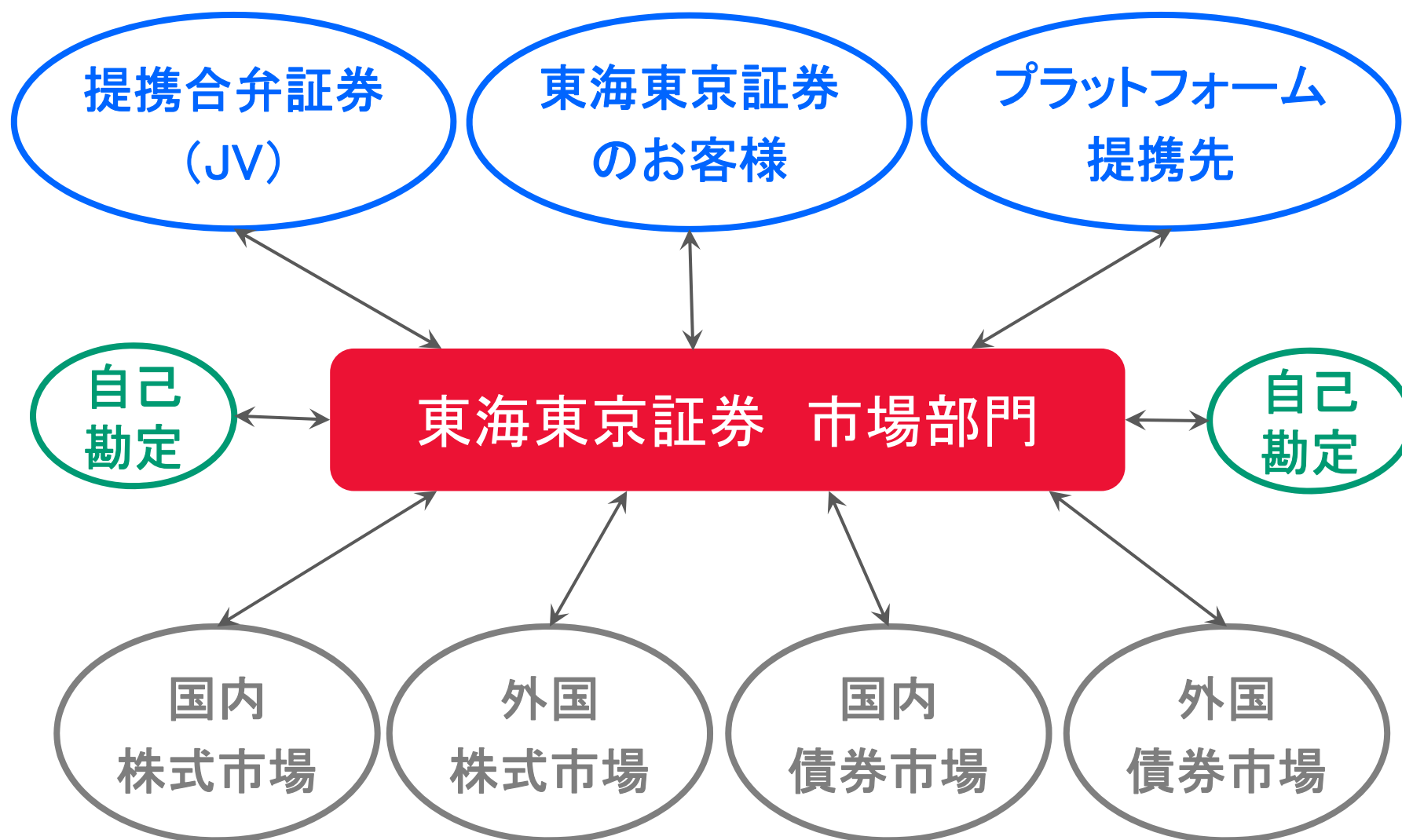


地域別収益



*顧客に付随しない収入は除く

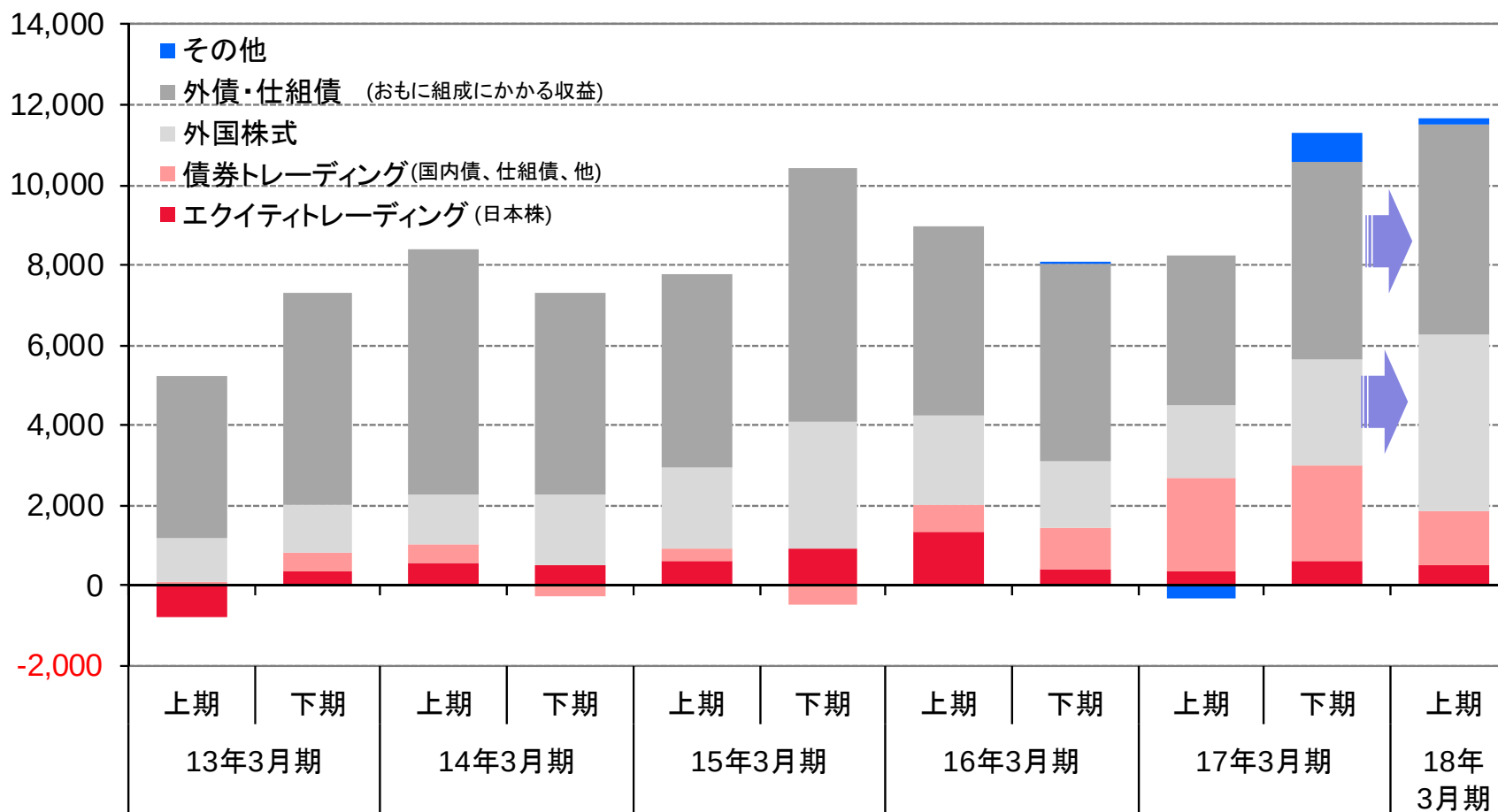
市場部門の役割



(東海東京証券)市場部門の収益内訳

商品別収益

(百万円)

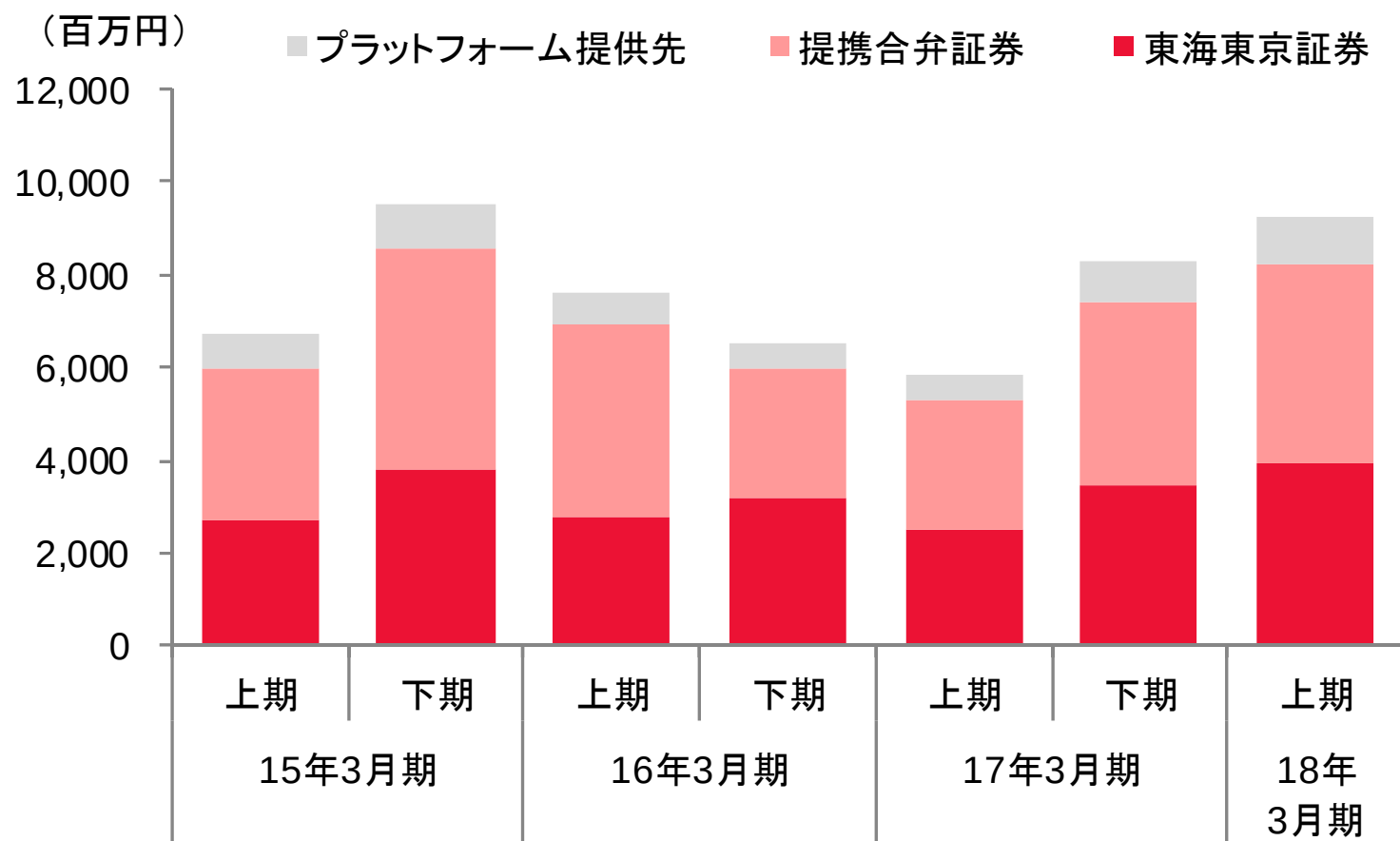


*東海東京証券社内管理上のデータに基づく数値

*管理会計上分類できない数値を「その他」として計上

(東海東京証券)市場部門の収益内訳

顧客別フロー収益



地方銀行との提携戦略

全国地方銀行預金量 上位20行(2017年3月末)

	提携先	預金量(兆円)	証券会社名	営業開始
1	コンコルディアFG	14.9	浜銀TT証券	2008年11月
2	★ めぶきFG	13.5		
3	★ ふくおかFG	13.2		
4	★ 千葉銀行	11.6		
5	ほくほくFG	10.6	ほくほくTT証券	2017年1月
6	★ 静岡銀行	9.2		
7	山口FG	8.5	ワイエム証券	2007年10月
8	★ 北洋銀行	8.1		
9	西日本シティ銀行	7.6	西日本シティTT証券	2010年5月
10	★ 七十七銀行	7.4		
11	★ 広島銀行	7.0		
12	★ 京都銀行	6.6		
13	★ 群馬銀行	6.5		
14	★ 八十二銀行	6.4		
15	★ 中国銀行	6.2		
16	十六銀行	5.3		
17	★ 東邦銀行	5.2		
18	★ 伊予銀行	5.0		
19	池田泉州HD	4.8	池田泉州TT証券	2013年9月
20	大垣共立銀行	4.8		
-	栃木銀行	2.6	宇都宮証券	2017年4月合併化

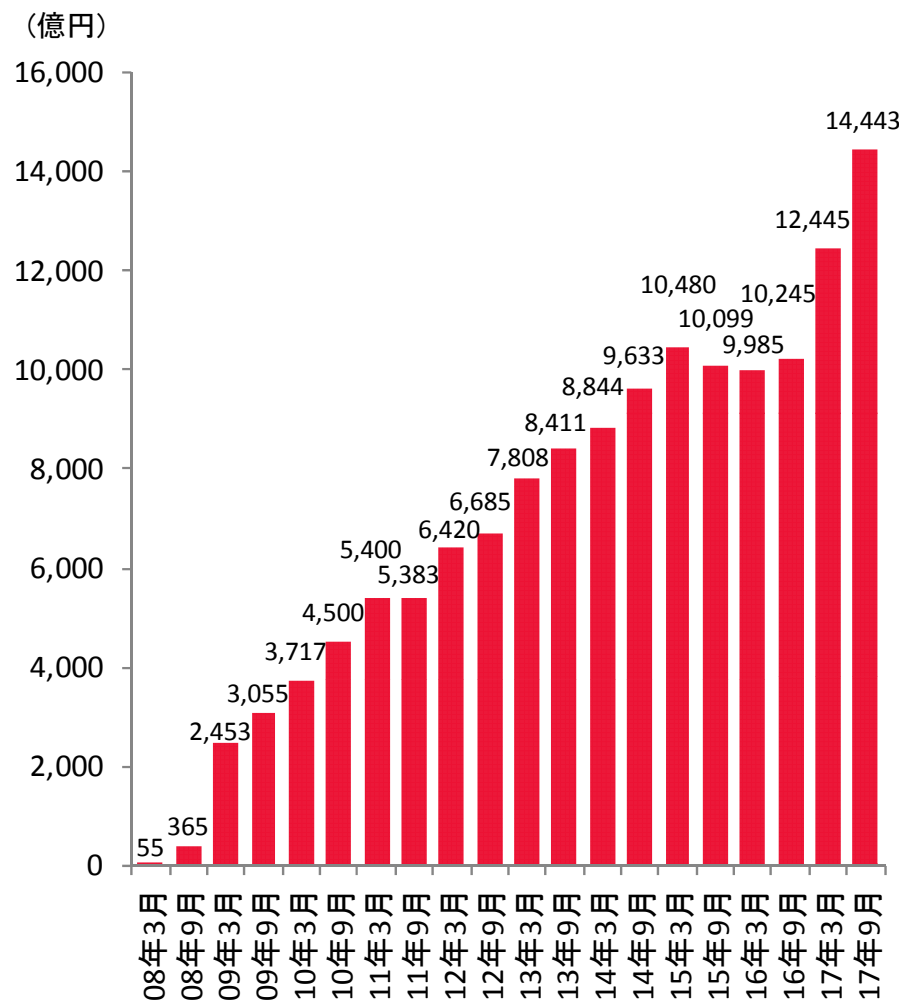
預金量計
49兆円

★ :証券子会社あり

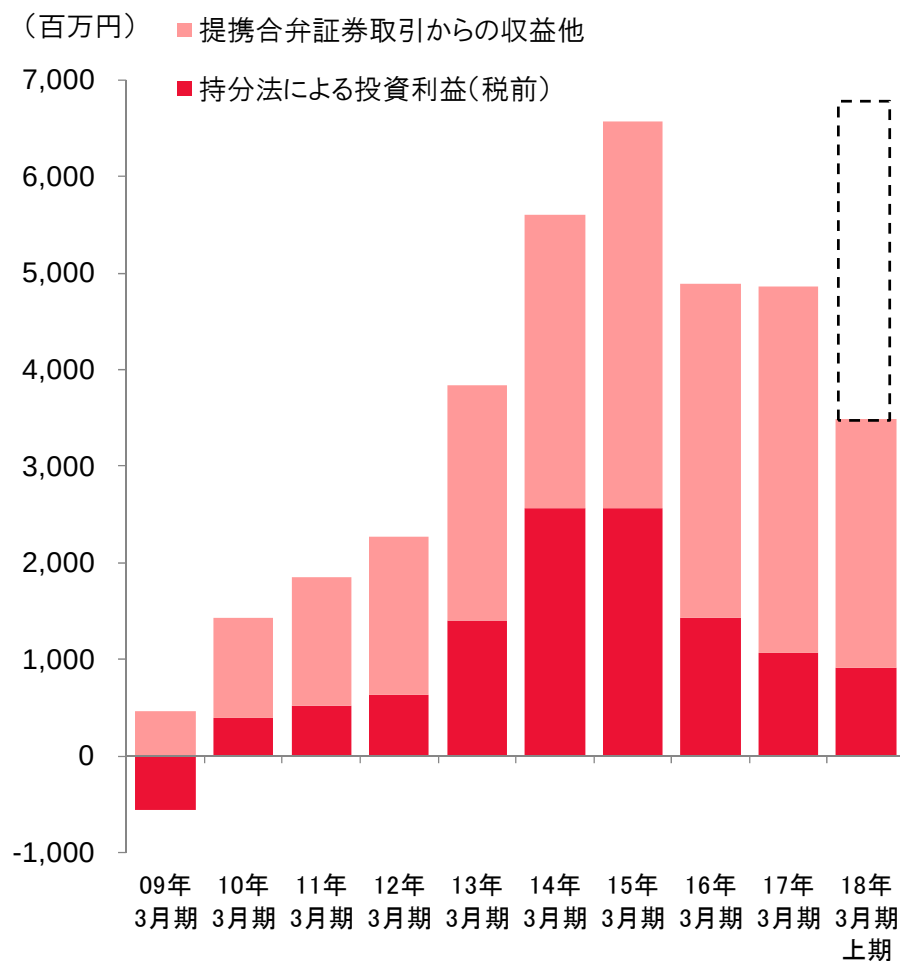
※東海東京フィナンシャル・ホールディングスの提携先

地方銀行との提携合併証券(JV)

預かり資産残高推移(JV6社合算)

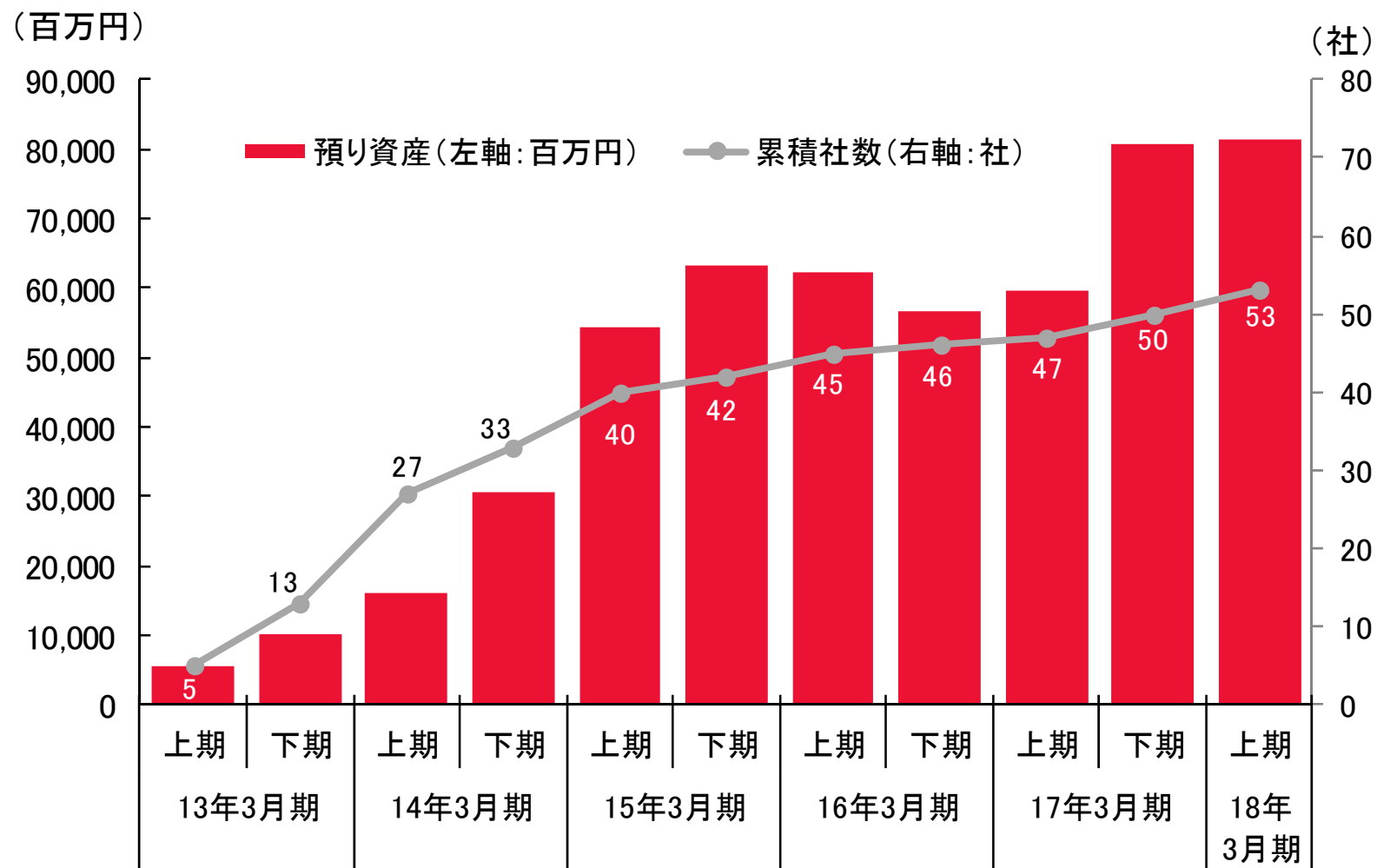


連結利益への貢献



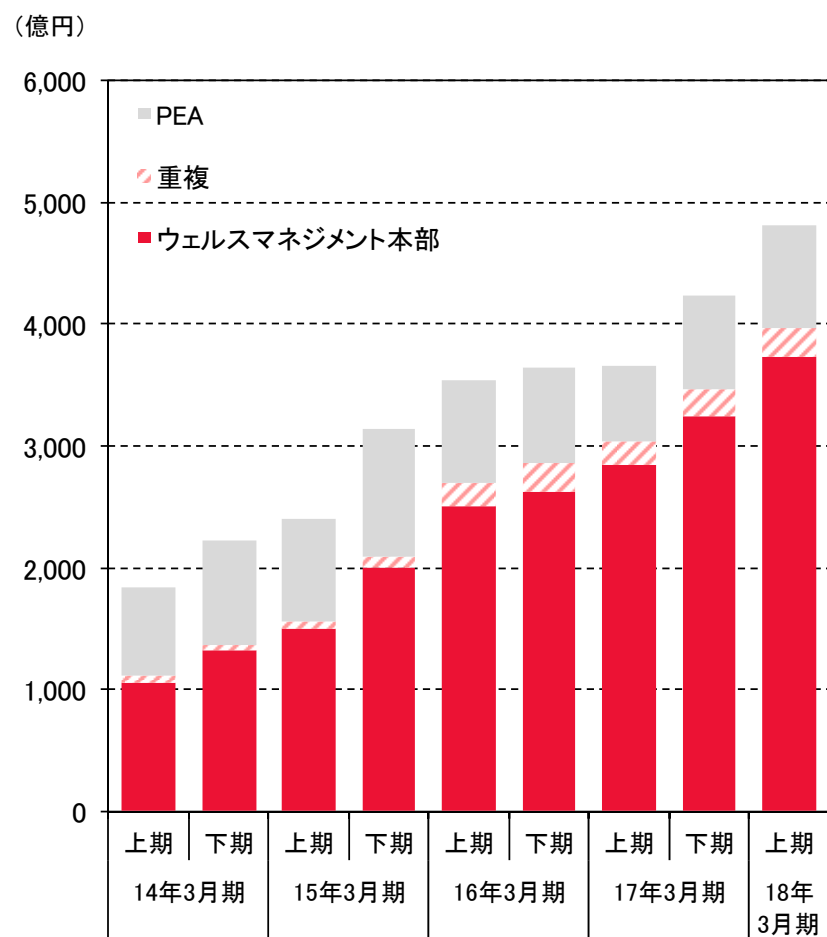
プラットフォーム事業

プラットフォーム提携社数と保護預かり資産

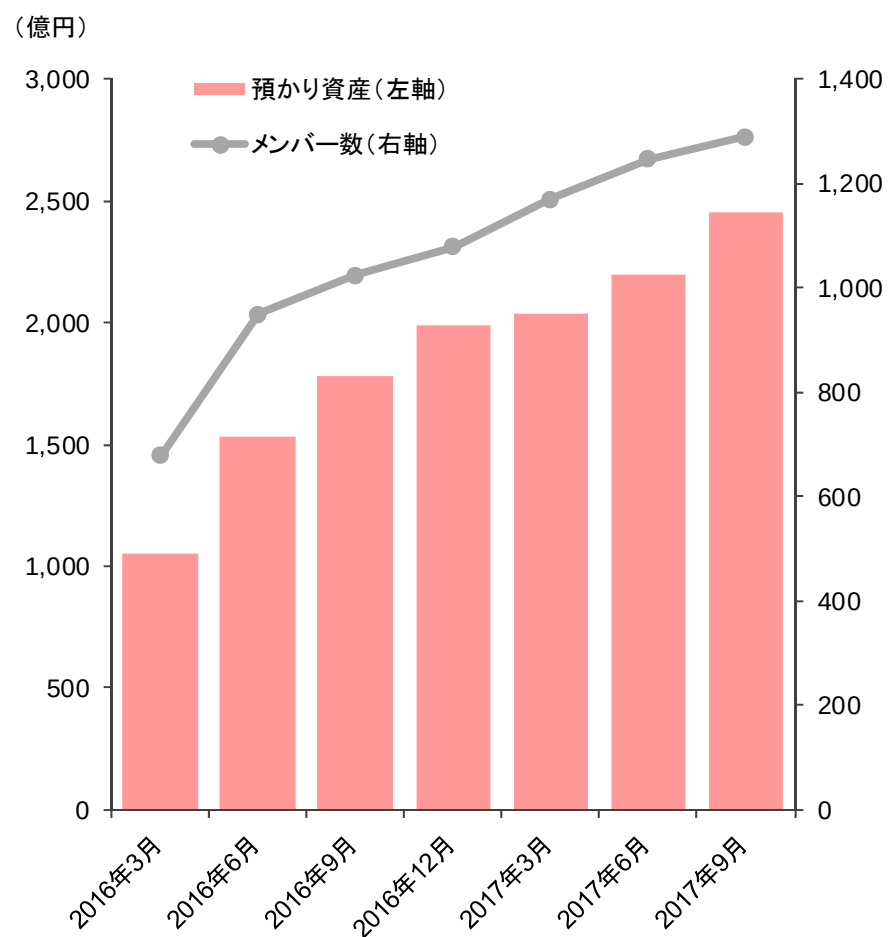


(東海東京証券)ウェルスマネジメント部門

預かり資産
(ウェルスマネジメント本部 & プレミア・エグゼクティブ・アドバイザー)



オルクドール
メンバー数・預かり資産

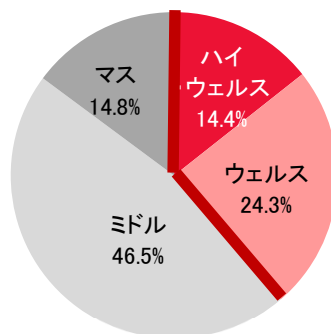


オルクドール

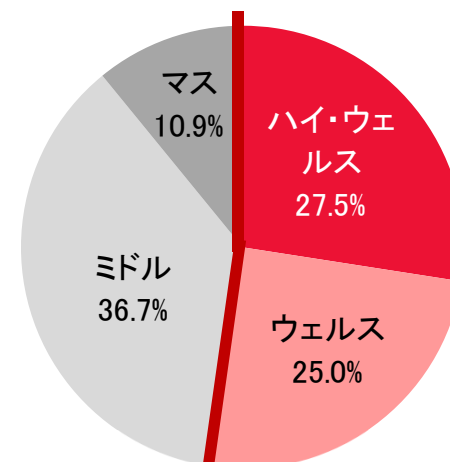


(東海東京証券)ウェルスマネジメント部門

リテール部門の預かり資産におけるハイ・ウェルス比率

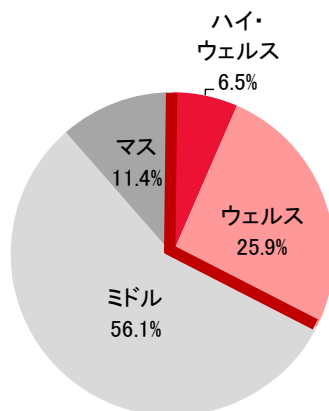


2013年3月末

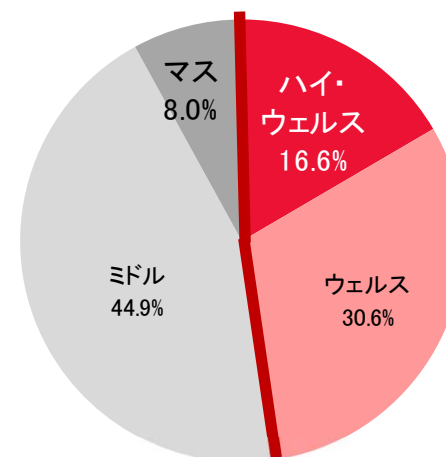


2017年9月末

リテール部門の収益におけるハイ・ウェルス比率



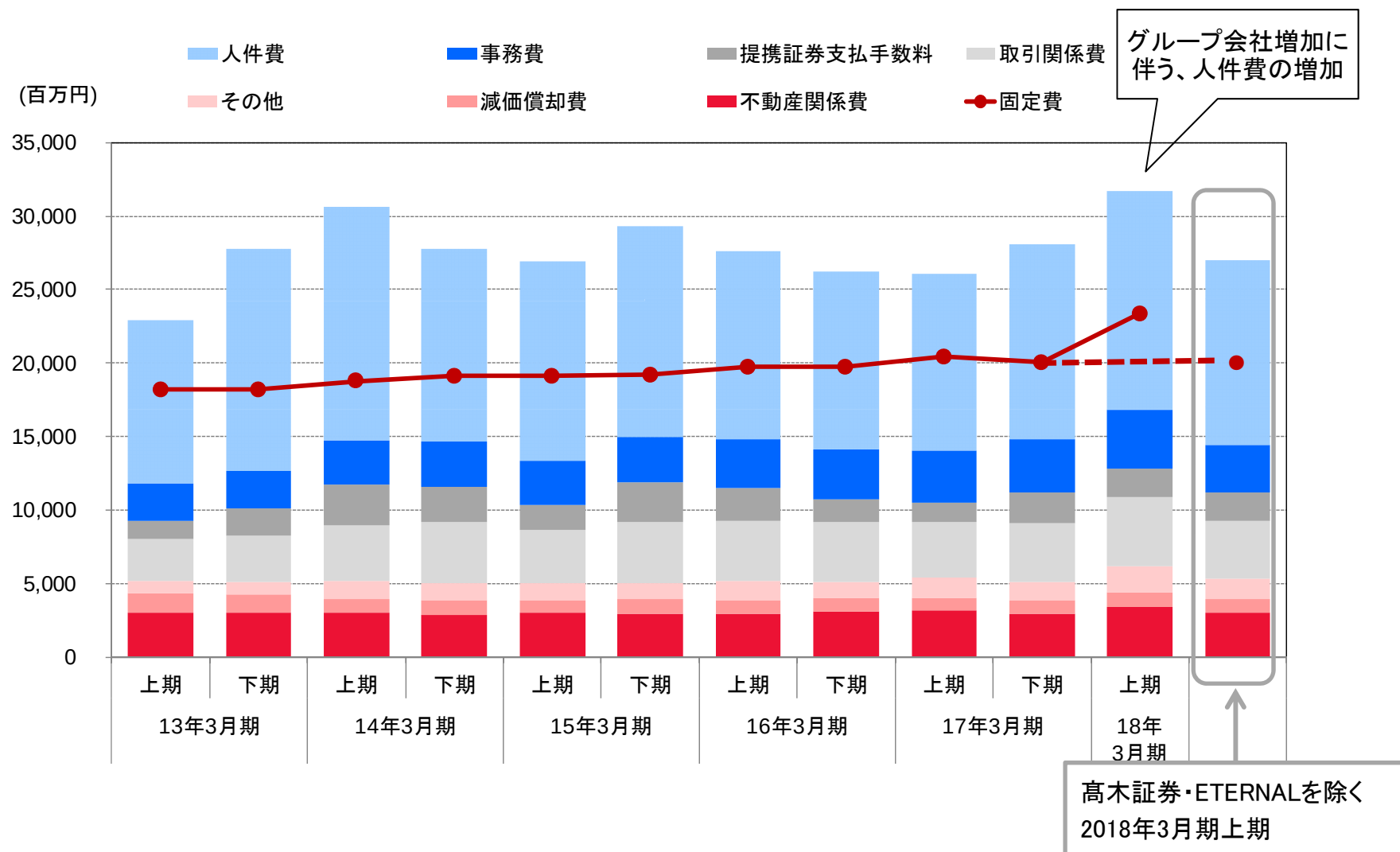
2013年3月期



2018年3月期 上期
(2017年4月～9月)

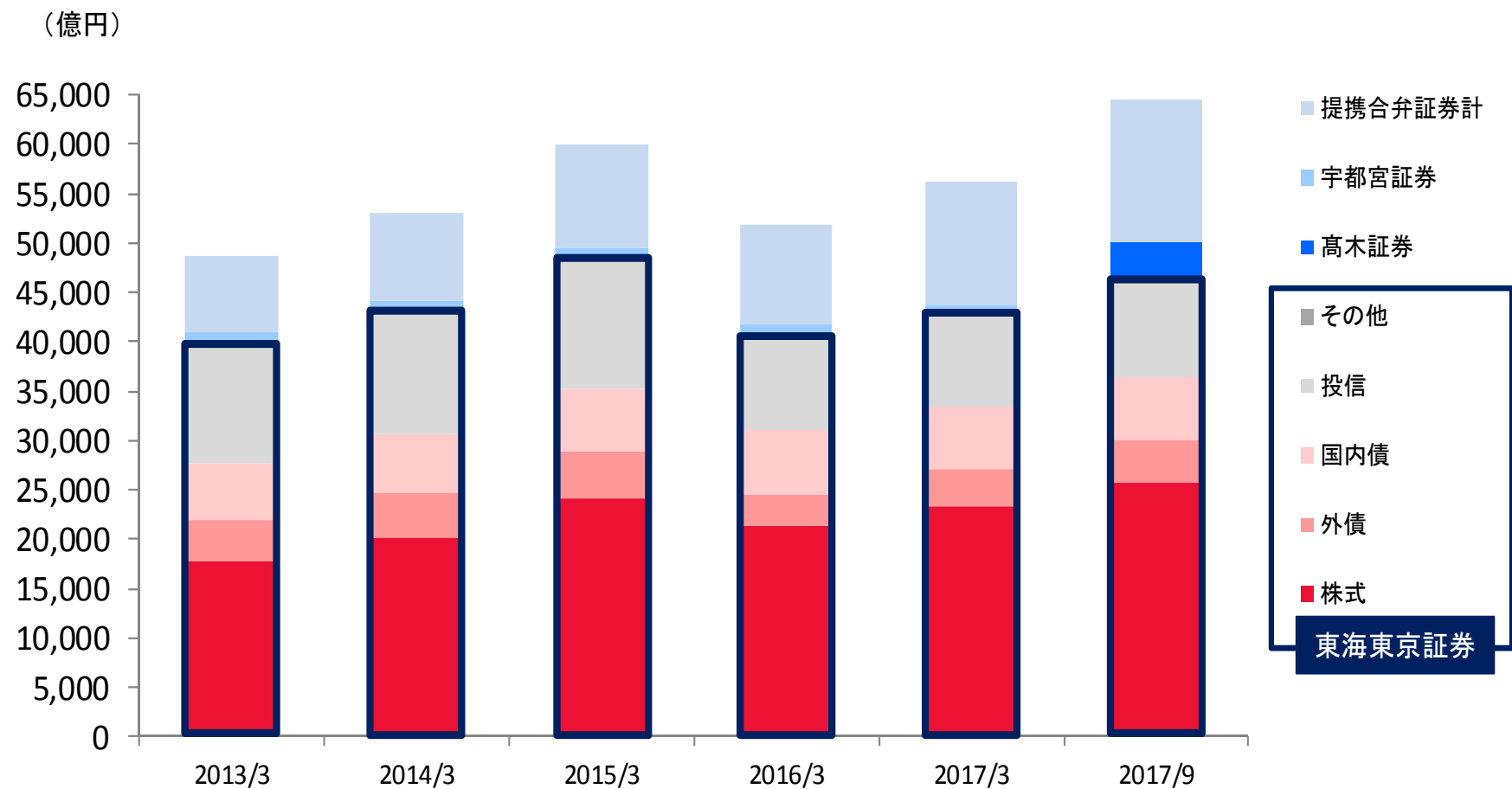
ハイ・ウェルス : 預かり資産1億円以上
ウェルス : 3,000万円以上1億円未満
ミドル : 500万円以上3,000万円未満
マス : 500万円未満

(連結)販売費および一般管理費の推移



*JVへの支店譲渡時のデータ移行費(事務費)控除 17年2Q・17年4Q

グループの預かり資産推移



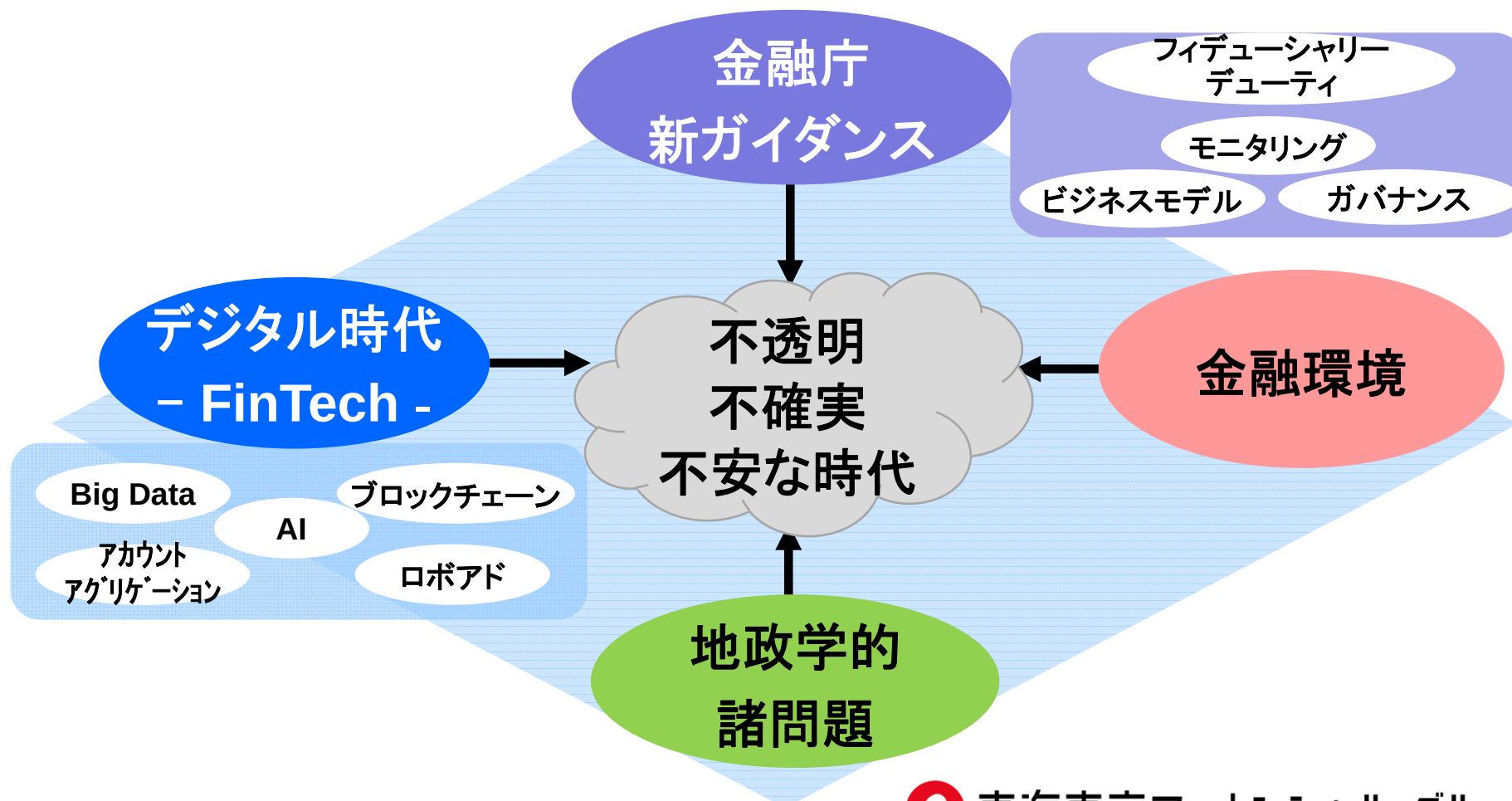
ビジネス環境

①高齡化社会
(大相続の時代)

②格差の時代

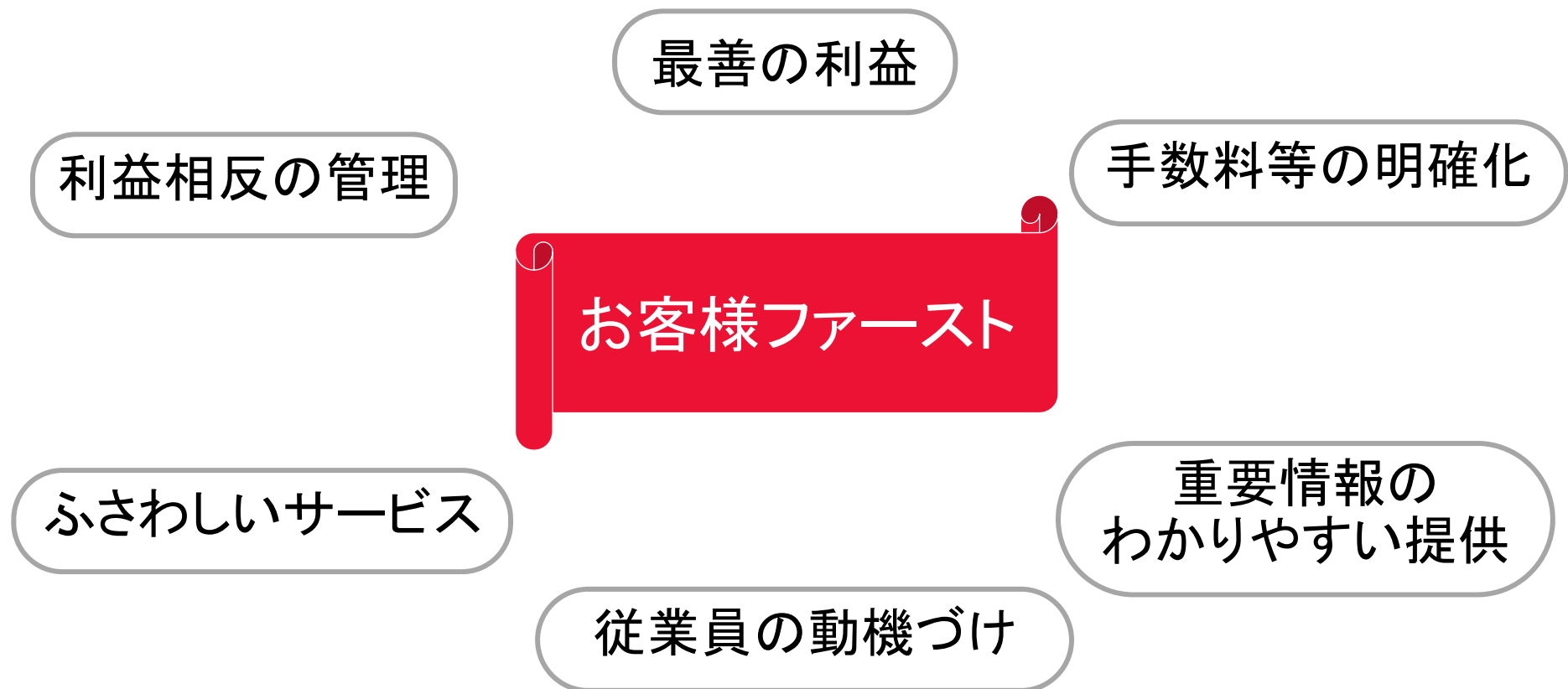
③競争の激化

④働き方改革



フィデューシャリー・デューティについて

東海東京証券「お客様本位の業務運営に関する取組み方針(抜粋)」



布石を打つ



主なプロジェクトのスタートと進展

《2015年度》



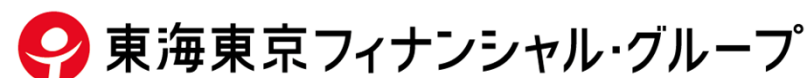
《2016年度》



《2017年度》



高木証券



マニーク

そなえる・かなえる・そだてるをひとつに。

MONEQUE
マニーク



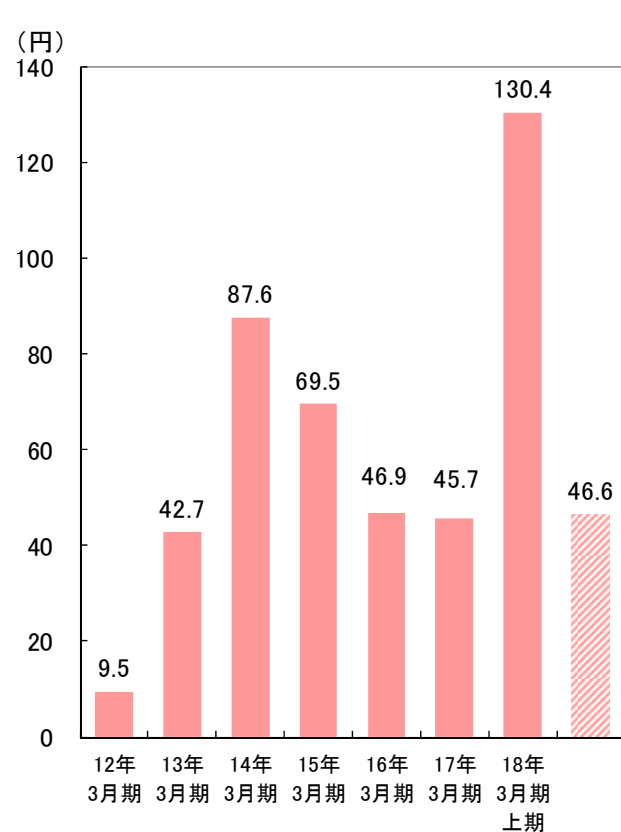
オルクドール



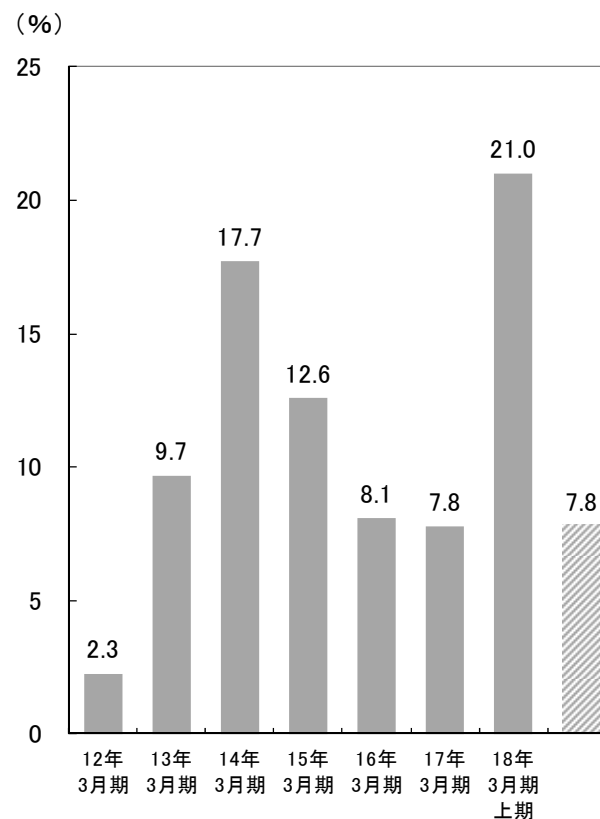
株主還元

株式指標

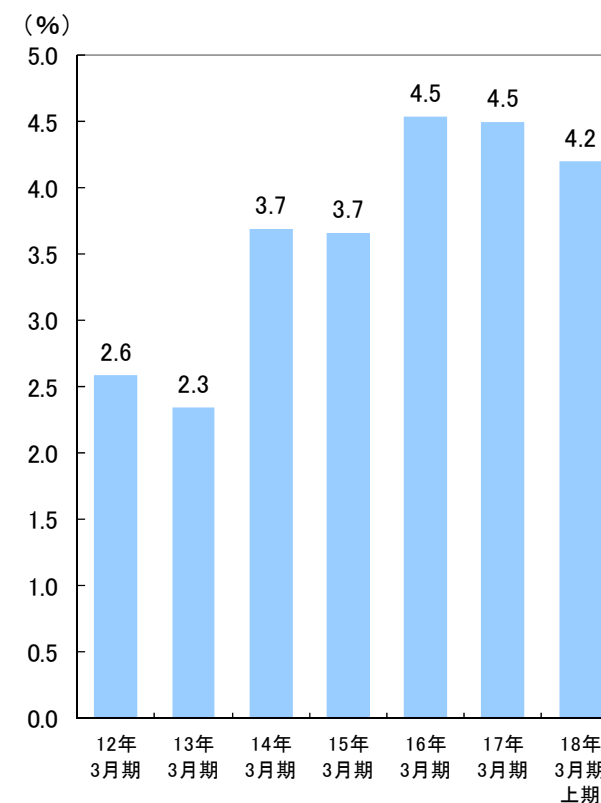
EPS



ROE



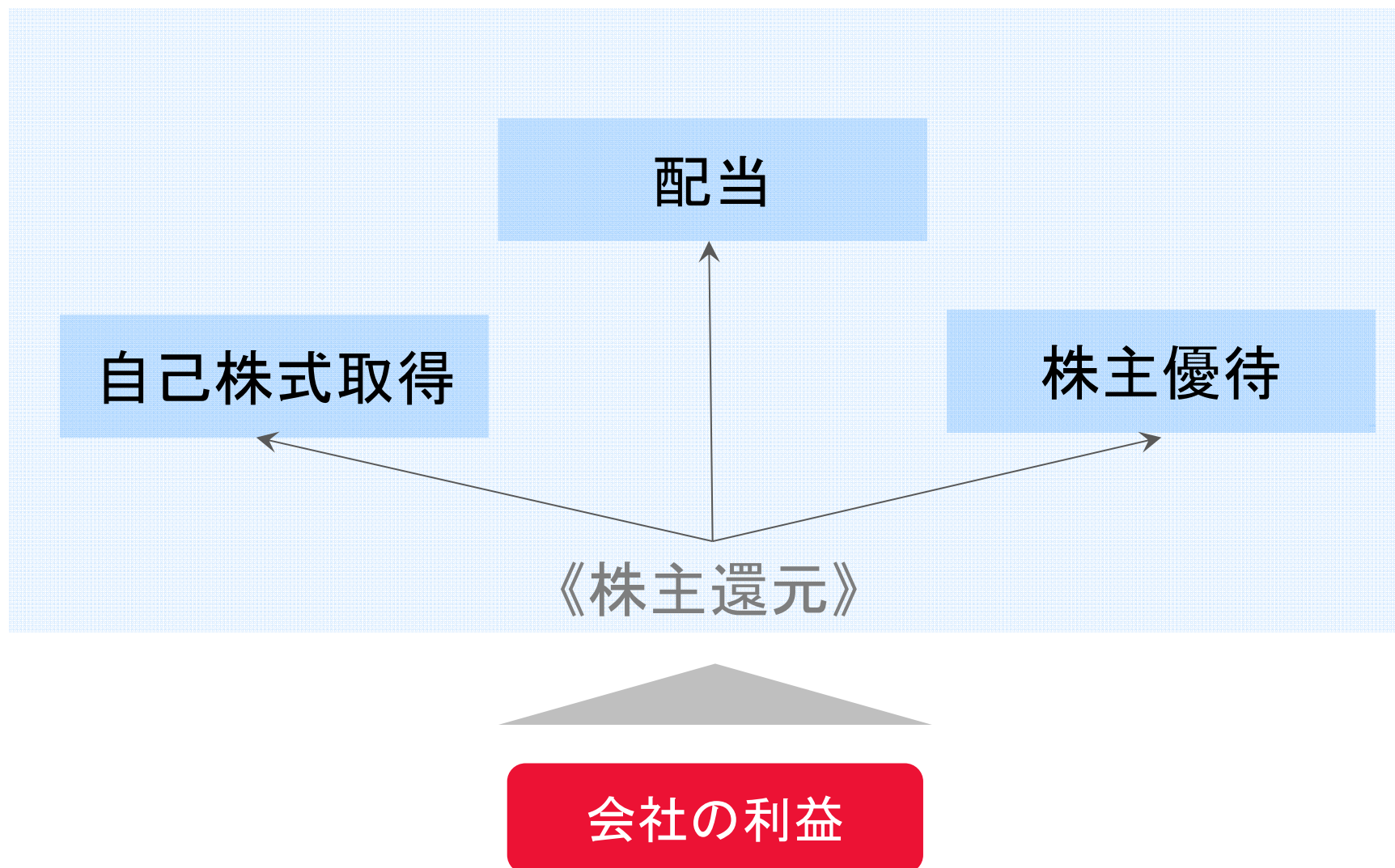
配当利回り



は高木証券、ETERNALを除く

*EPS・ROEは年率換算

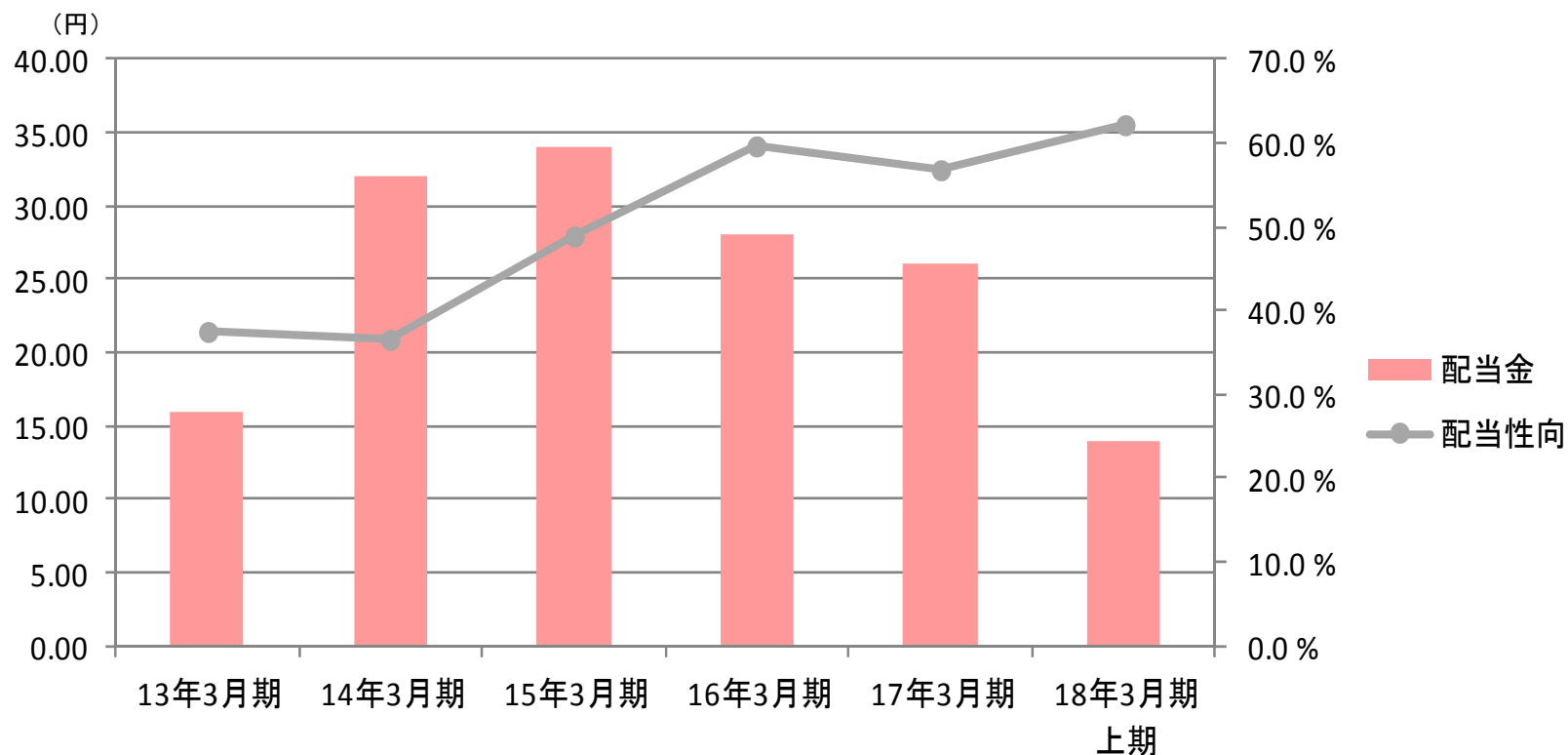
株主還元



配当

	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期 上期
1株あたり年間配当金(円)	16.00	32.00	34.00	28.00	26.00	14.00
配当性向 (%)	37.4 %	36.5 %	48.9 %	59.7 %	56.9 %	62.1 %

*1株あたり配当金は2018年3月期の中間配当の金額であり、配当性向は高木証券完全子会社化に伴う負ののれん発生益111.6億円を控除し、年換算し記載しております。



自己株式の取得

時期	自己株式取得数	(%)*	消却株数	(%)**
2009年度			5,000,000株	(1.75%)
2010年度	3,000,000株	(1.07%)		
2011年度	12,911,000株	(4.67%)		
2015年度	3,000,000株	(1.13%)		
2016年度	3,476,000株	(1.32%)		
2017年度	(上限500万株(1.99%)の取得を決議・発表)		10,000,000株	(3.56%)

* 自己株式を除く発行済株式総数に対する割合

**消却前の自己株式を含む発行済株式総数に対する割合

株主優待制度

- 地域の名産品等を掲載したカタログから、保有株数に応じてお好みの商品をお選びいただけます。

保有株式数	優待商品
1,000株以上3,000株未満	2,000円相当の名産品等を一点
3,000株以上5,000株未満	2,000円相当の名産品等を二点
5,000株以上10,000株未満	5,000円相当の名産品等を一点
10,000株以上	5,000円相当の名産品等を二点

(2017年3月期実績)

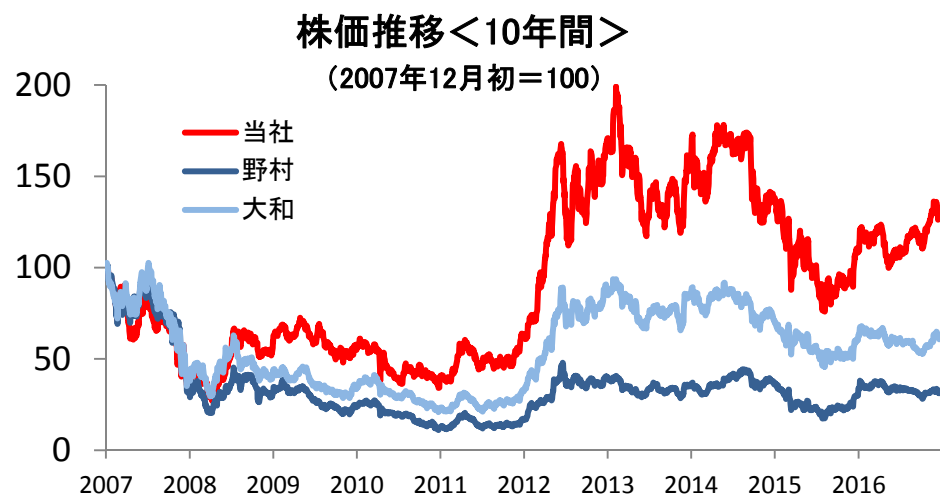
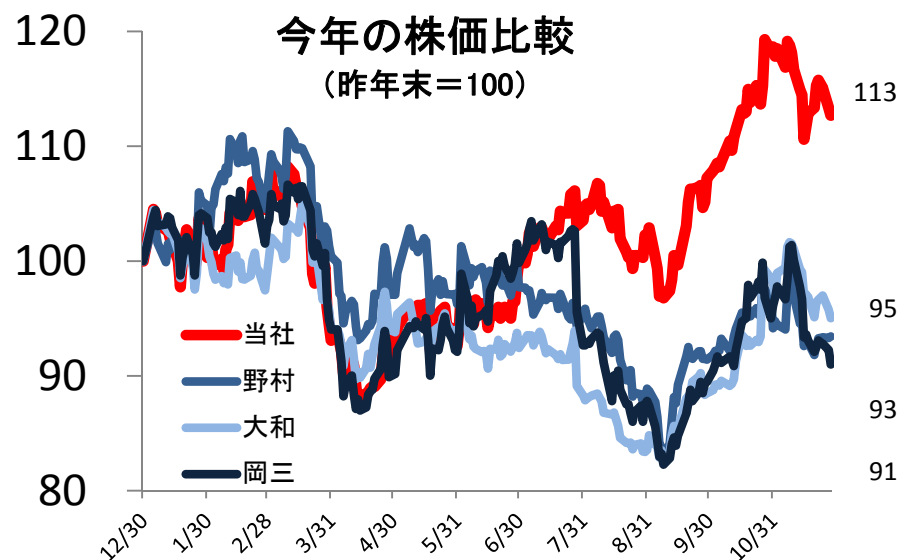
- 100株以上1,000株未満保有の株主様には、3年以上の継続保有を条件として、一律、500円相当の優待商品(クオカード等)を進呈いたします。



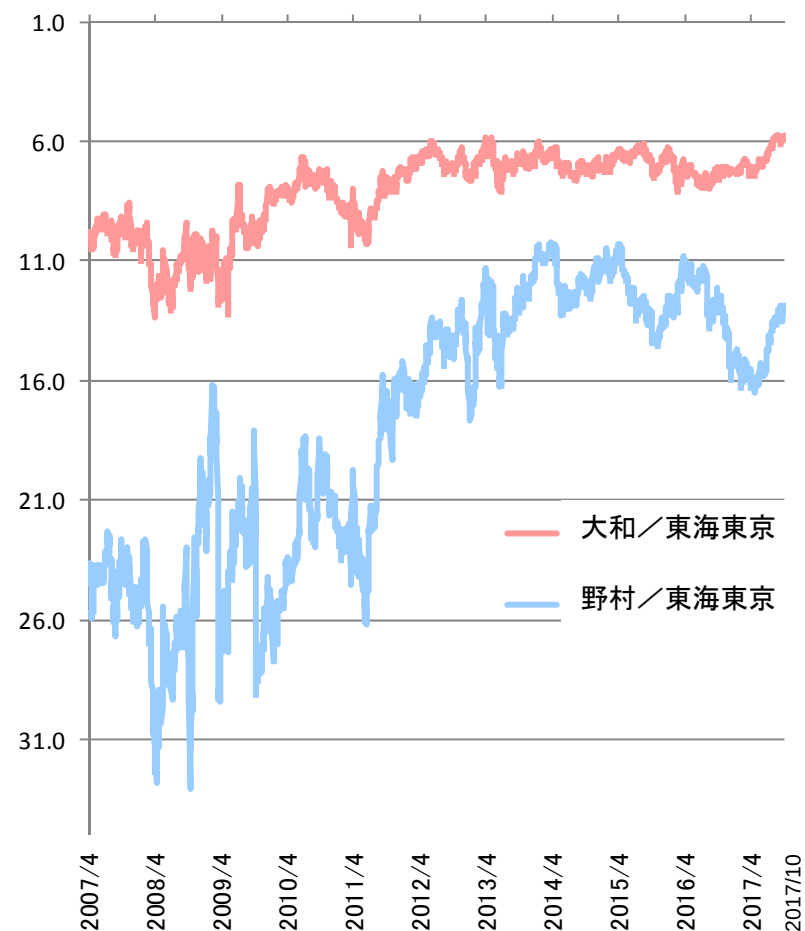
(2017年3月期カタログギフトより)



株価と時価総額の推移



時価総額倍率の推移



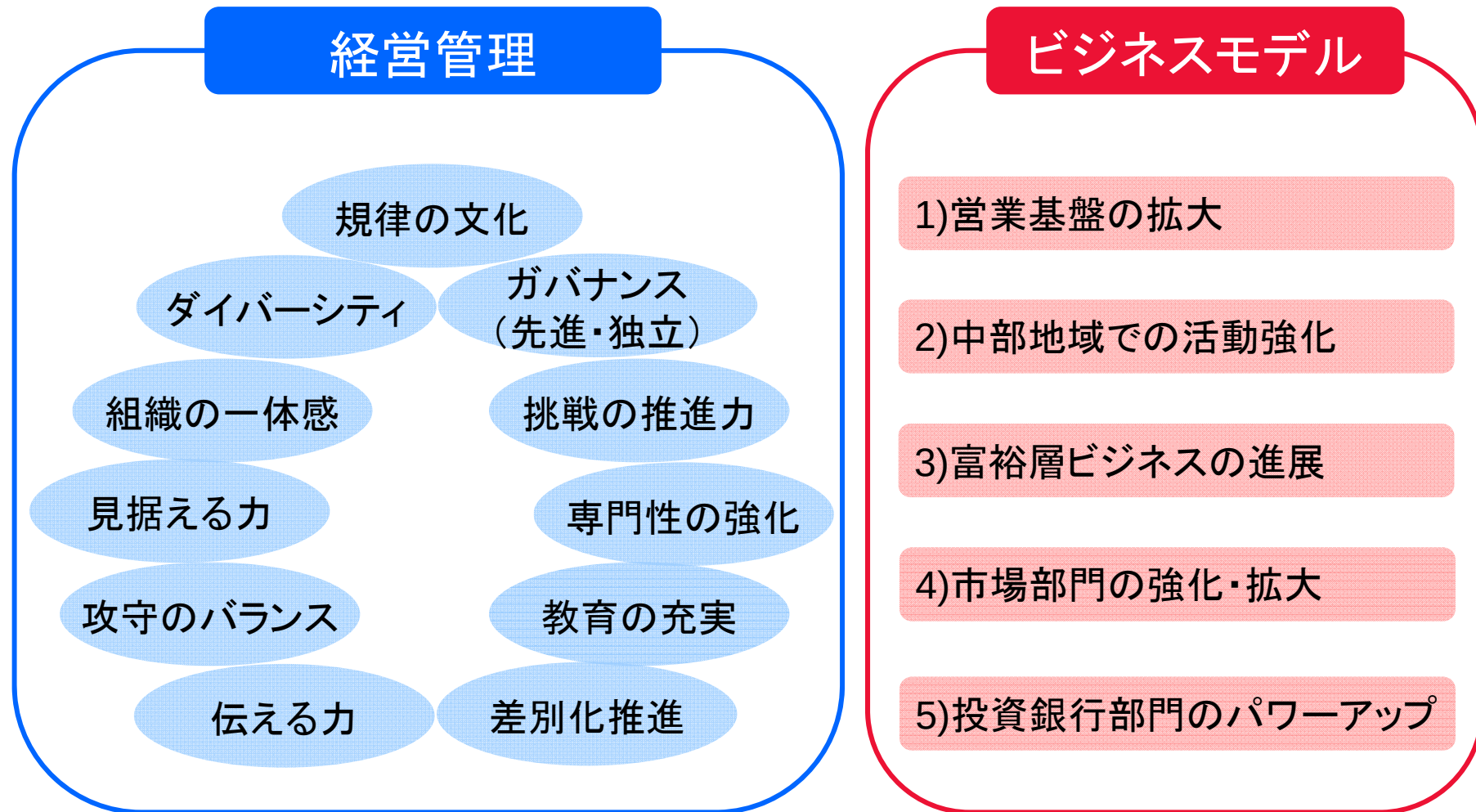
新経営計画

「New Age's, Flag Bearer 5 ～新時代の旗手～」

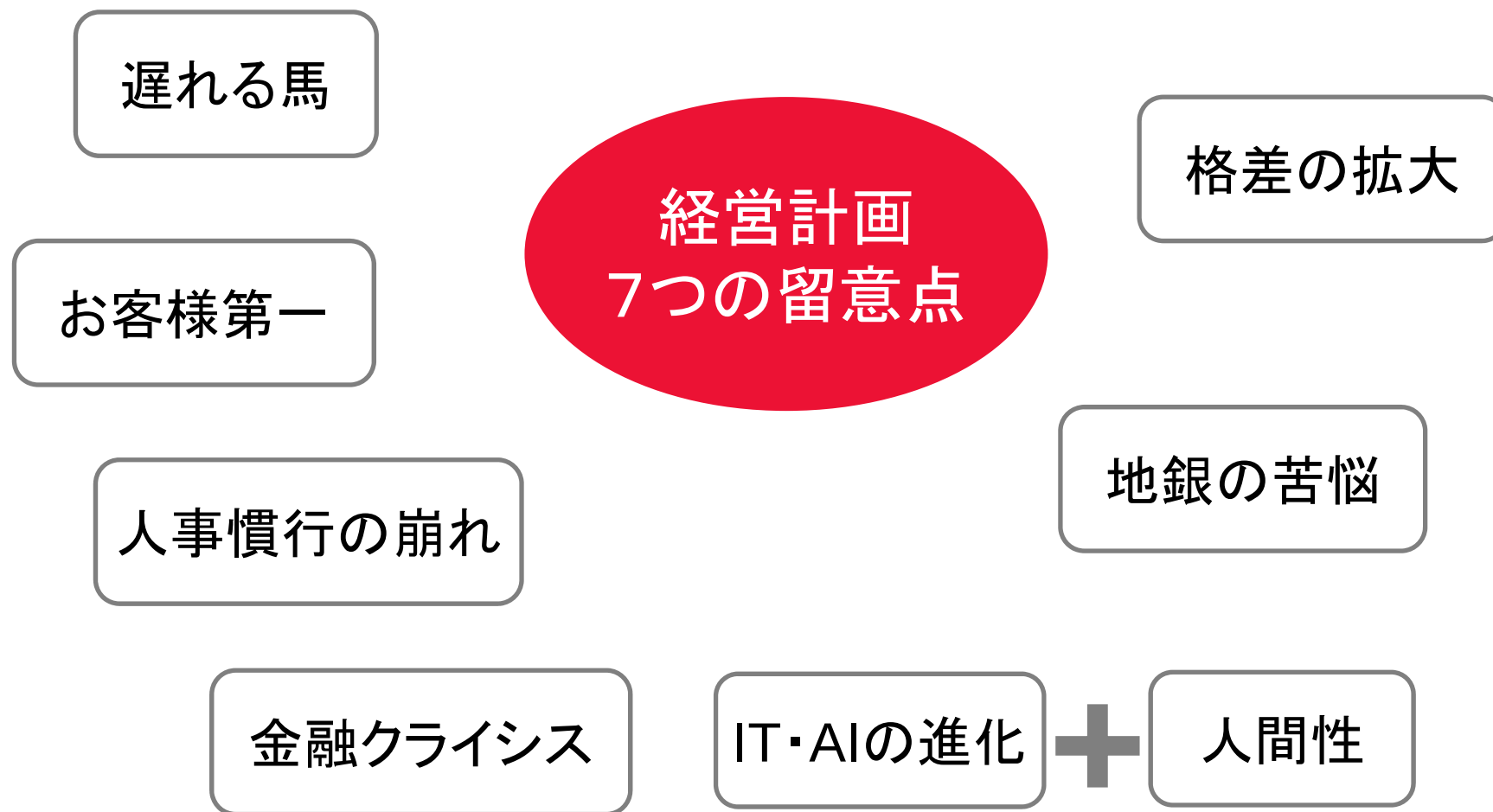
前経営計画「Ambitious 5」の成果

	2012年3月時点		2017年9月末時点
預かり資産規模 (持分法適用会社を含む)	4.4兆円	➡	6.8兆円
富裕層 (預かり資産ベース)	14%	➡	27%
リテール比率	73%	➡	58%
アライアンス先	3 行	➡	6行
プラットフォーム先	13 社	➡	53社

前経営計画「Ambitious 5」の成果



新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」



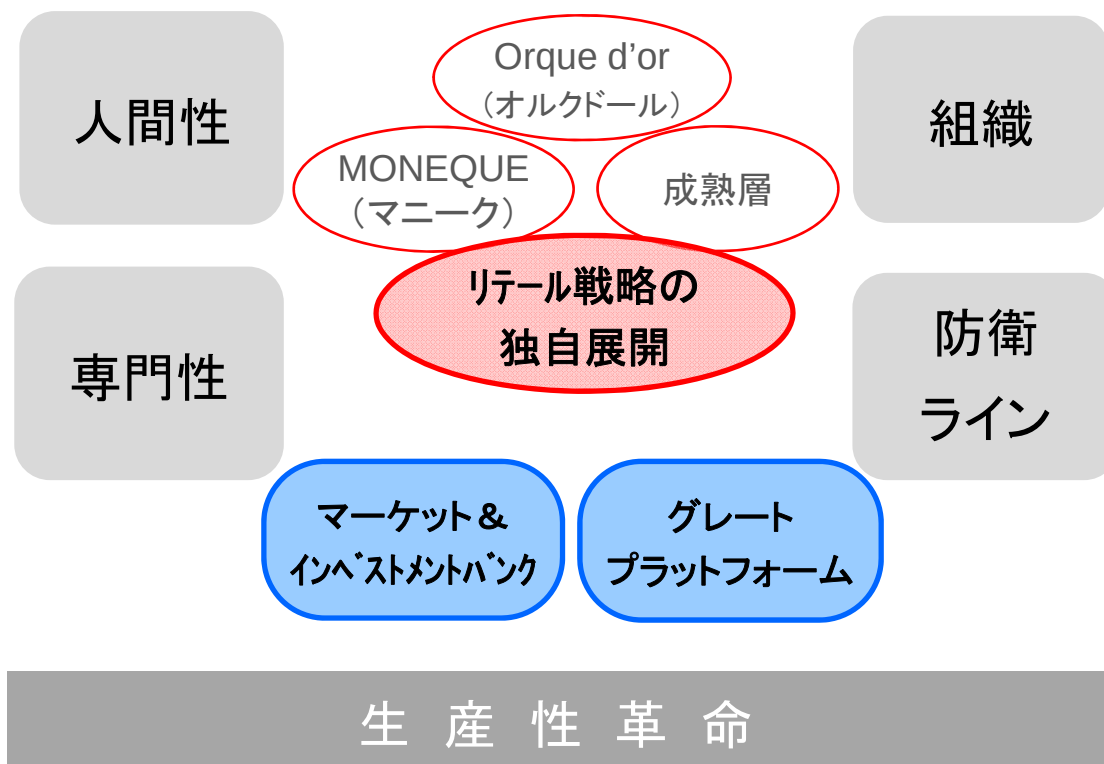
新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」



新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」 骨子

「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」

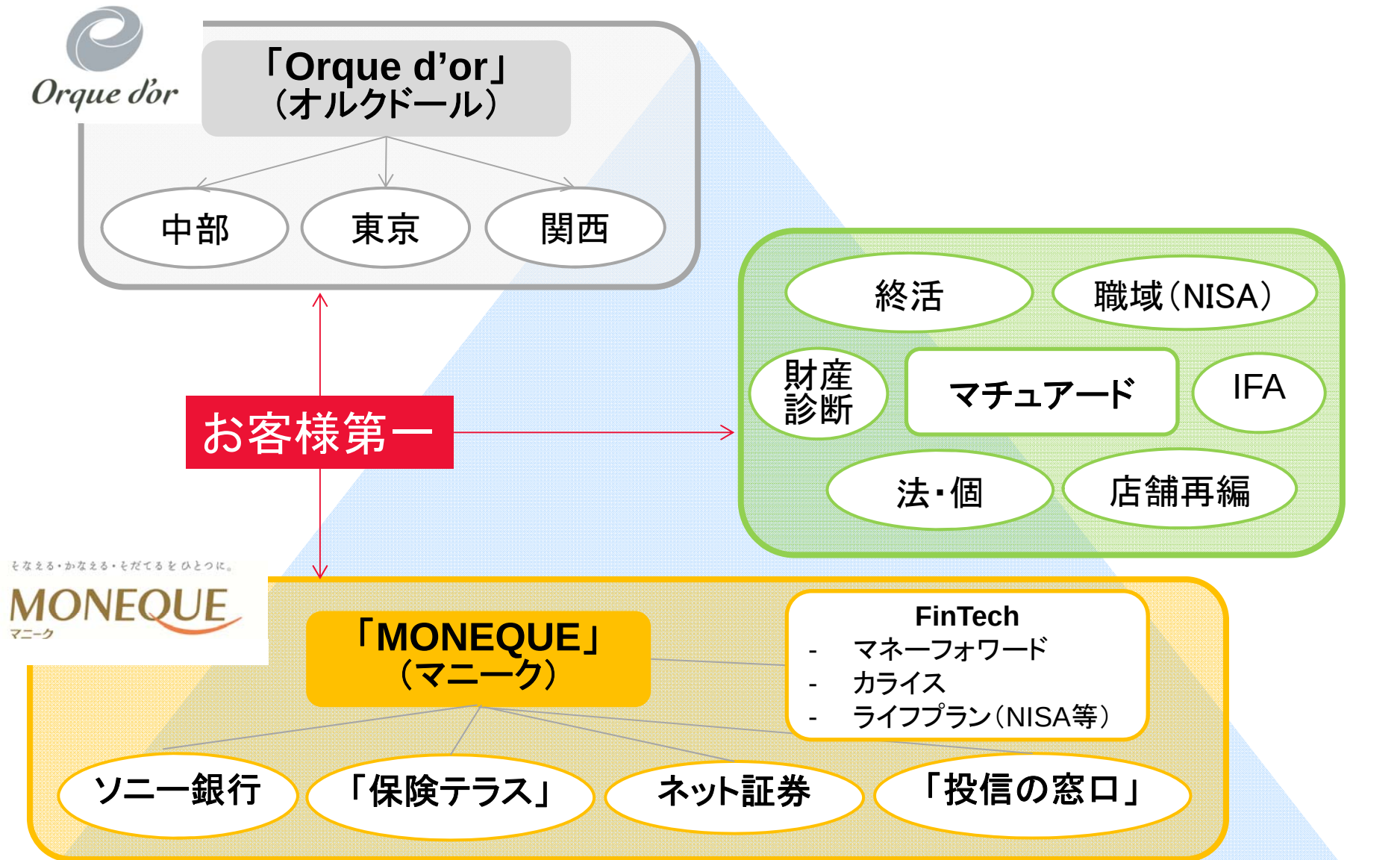
更なる経営基盤の強化と成長



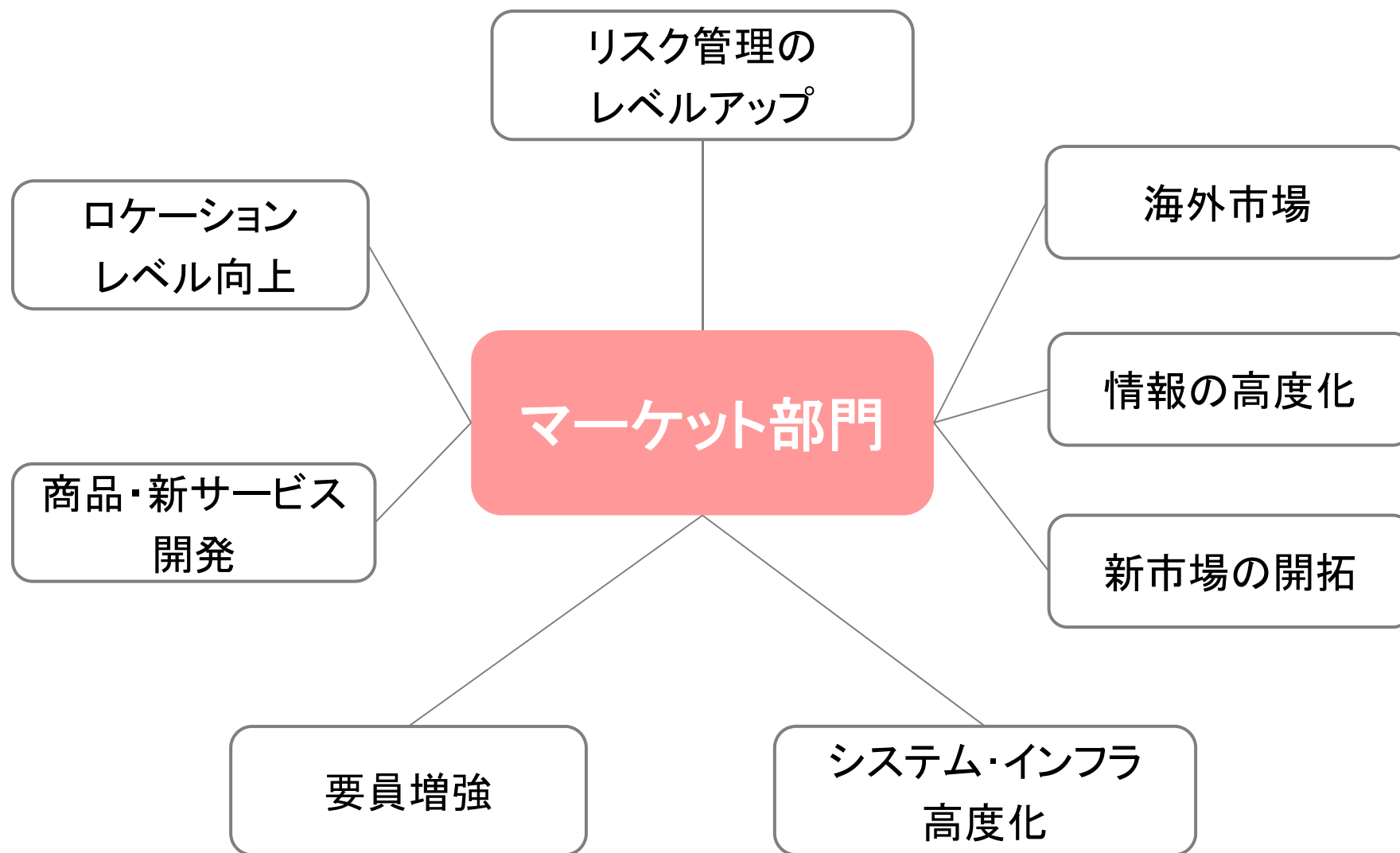
戦略テーマの追求



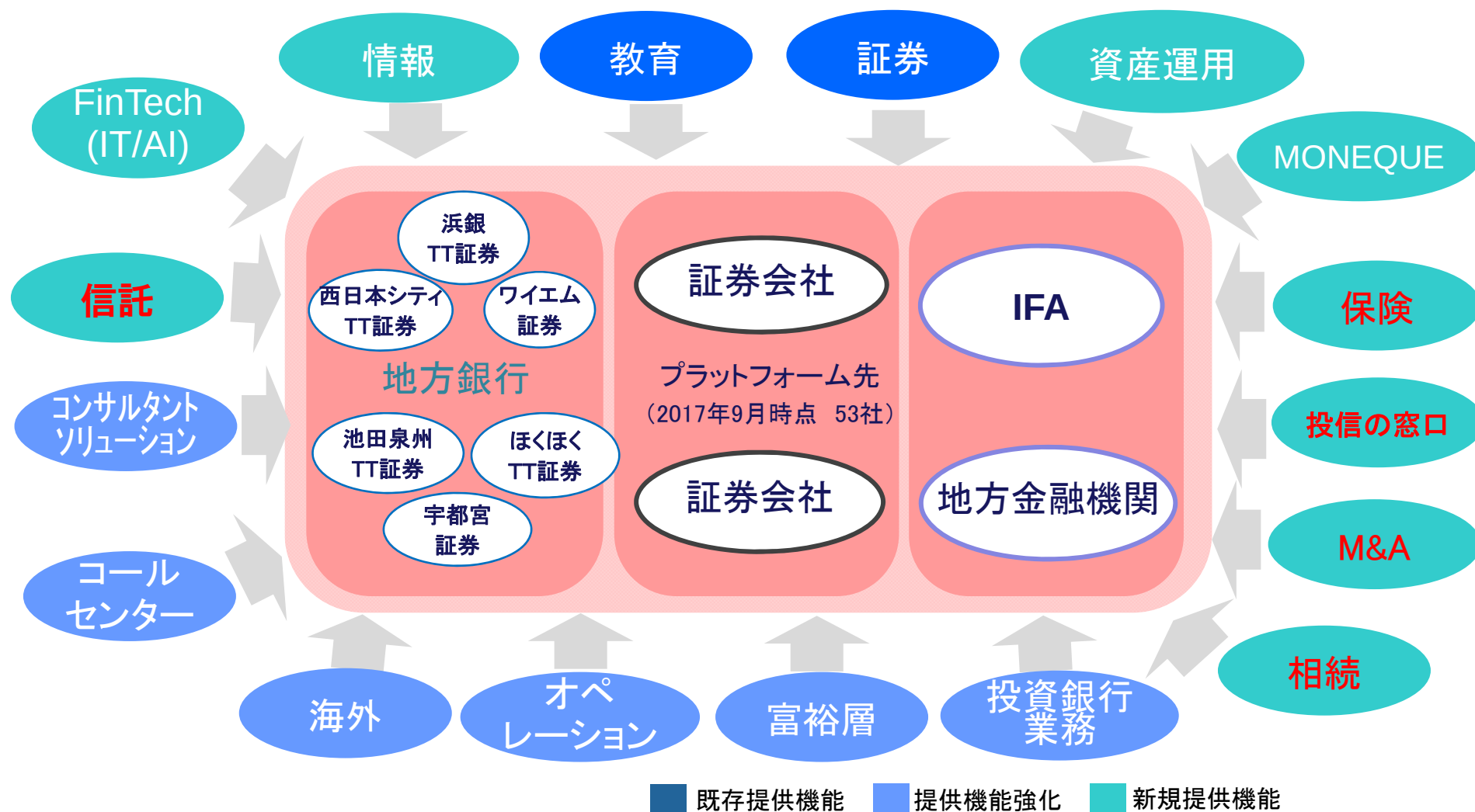
営業分野の重点テーマ



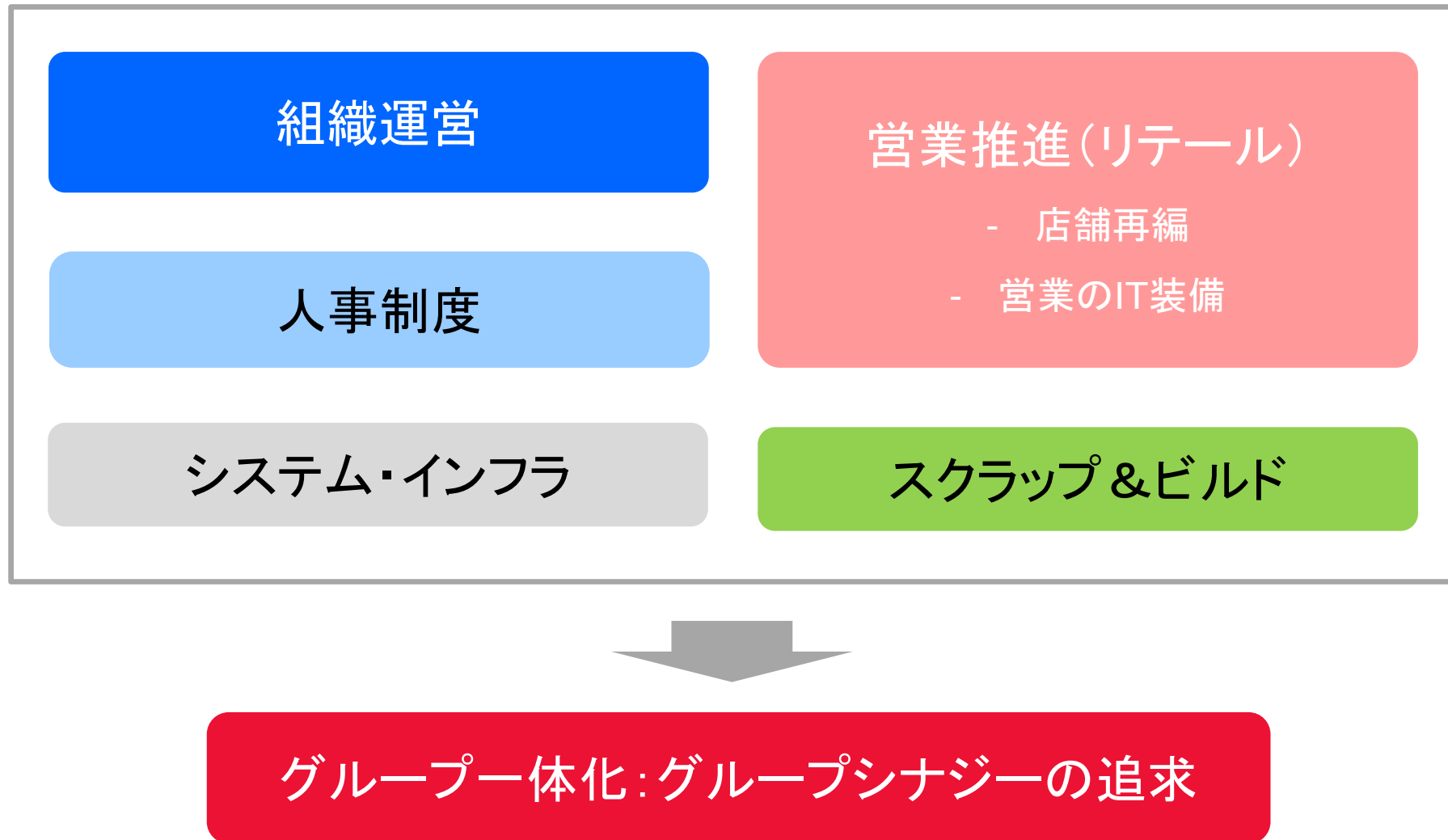
マーケット部門の飛躍



アライアンス戦略 & プラットフォーム飛躍



生産性革命



新経営計画「New Age's, Flag Bearer 5～新時代の旗手～」 意味と狙い

「Ambitious 5」の成果としての
経営基盤

環境変化

「New Age's, Flag Bearer 5」

第三の極を形成

リテール顧客
セグメント戦略

市場部門の
拡大

生産性革命

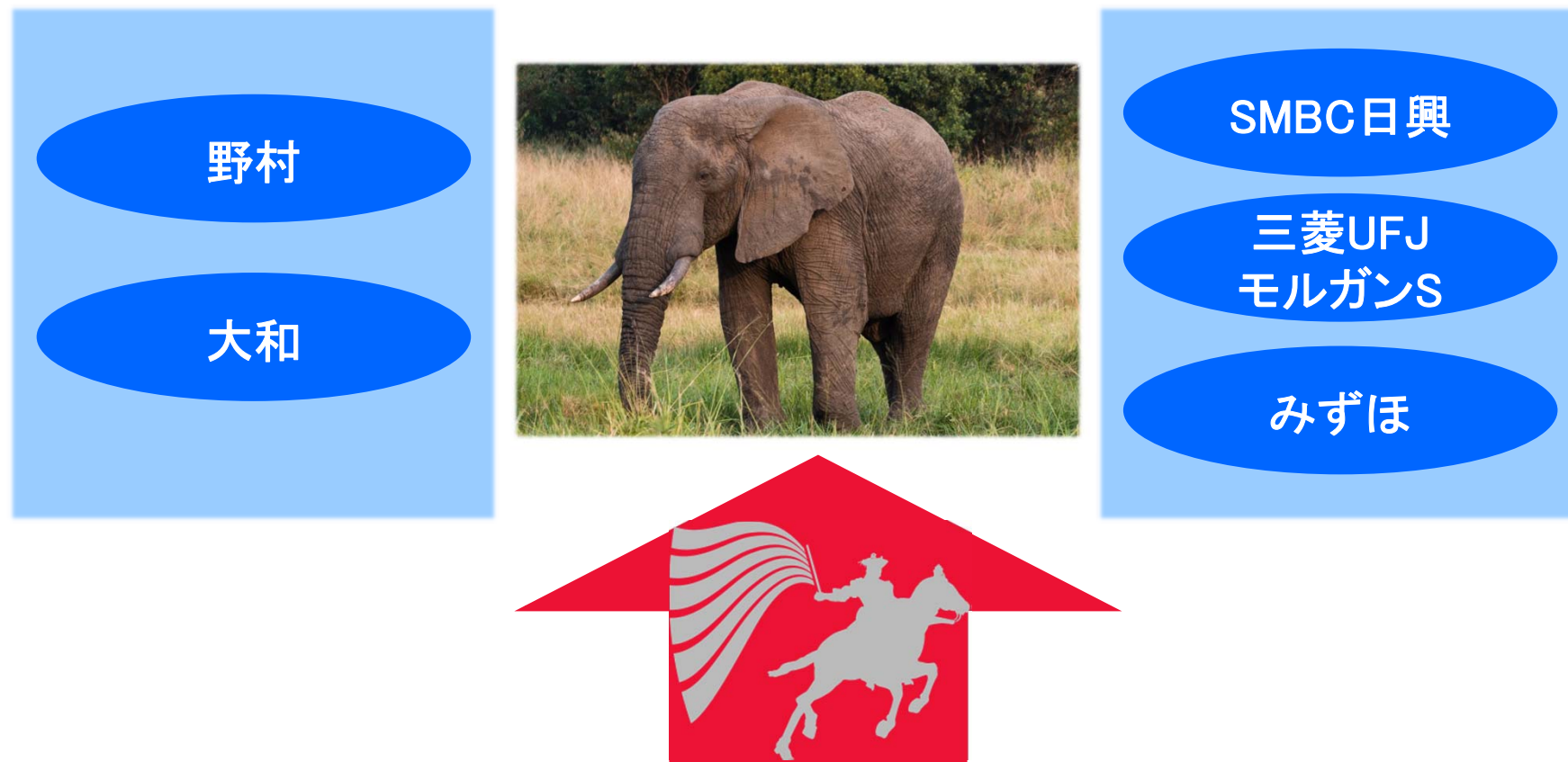
首都圏

M&A

グレート・
プラットフォーム

IT (AI)

5年後の姿



東海東京フィナンシャル・グループ

“New Age’s, Flag Bearer 5”

新年度へ向けて

海外機関投資家の見方

短期楽観

長期慎重



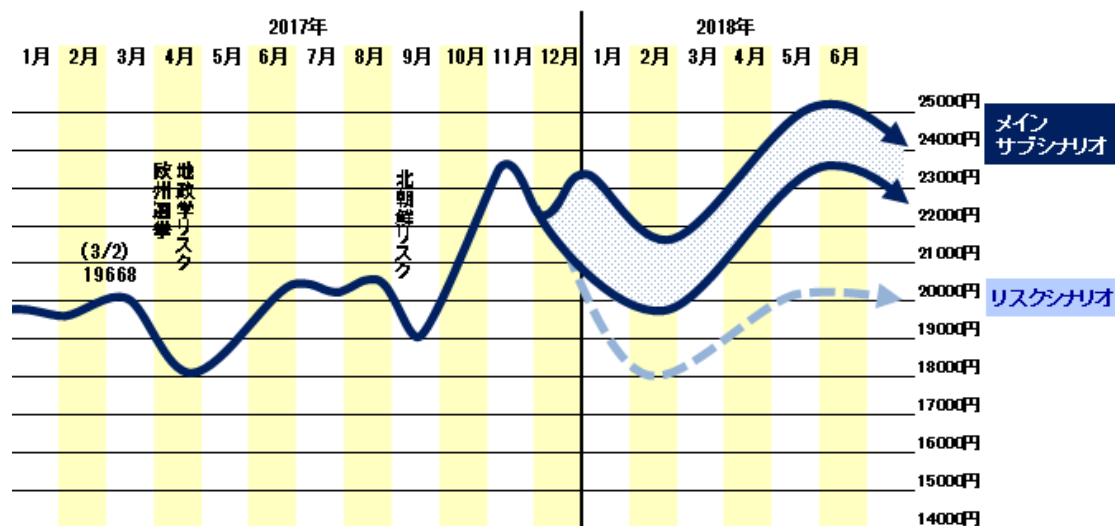
日本に対する見方

短期楽観

企業業績

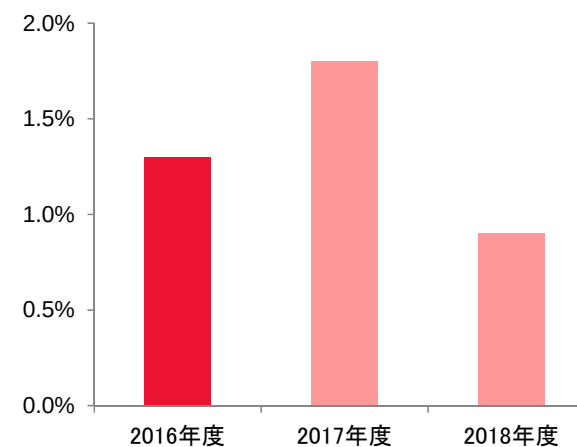
ガバナンス

株価予想



出所: 各種資料より東海東京調査センター作成

GDP成長率予測



東海東京調査センターによる予測

警戒すべき時代

長期慎重

米国政治

地政学的
諸問題

欧州

中東

中国

灰色のサイ



2019年危機

オリンピックの
のろい

成熟国の
悲劇

戌年：戌、笑う



景気の転換点

長期上昇相場
の起点
岩戸景気(1958)

金融・通貨制度
の変革

嬉しい時代

お客様の満足度

株主様の
満足度

社会の
満足度

嬉しい
時代

従業員の満足度

お問合せ先

- 東海東京フィナンシャル・ホールディングス
広報・IR部 Tel: 03-3517-8618 Fax: 03-3517-8314
- E-mail: fh_ir@tokaitokyo-fh.jp

◇ 本資料は、最新の業績等に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。